

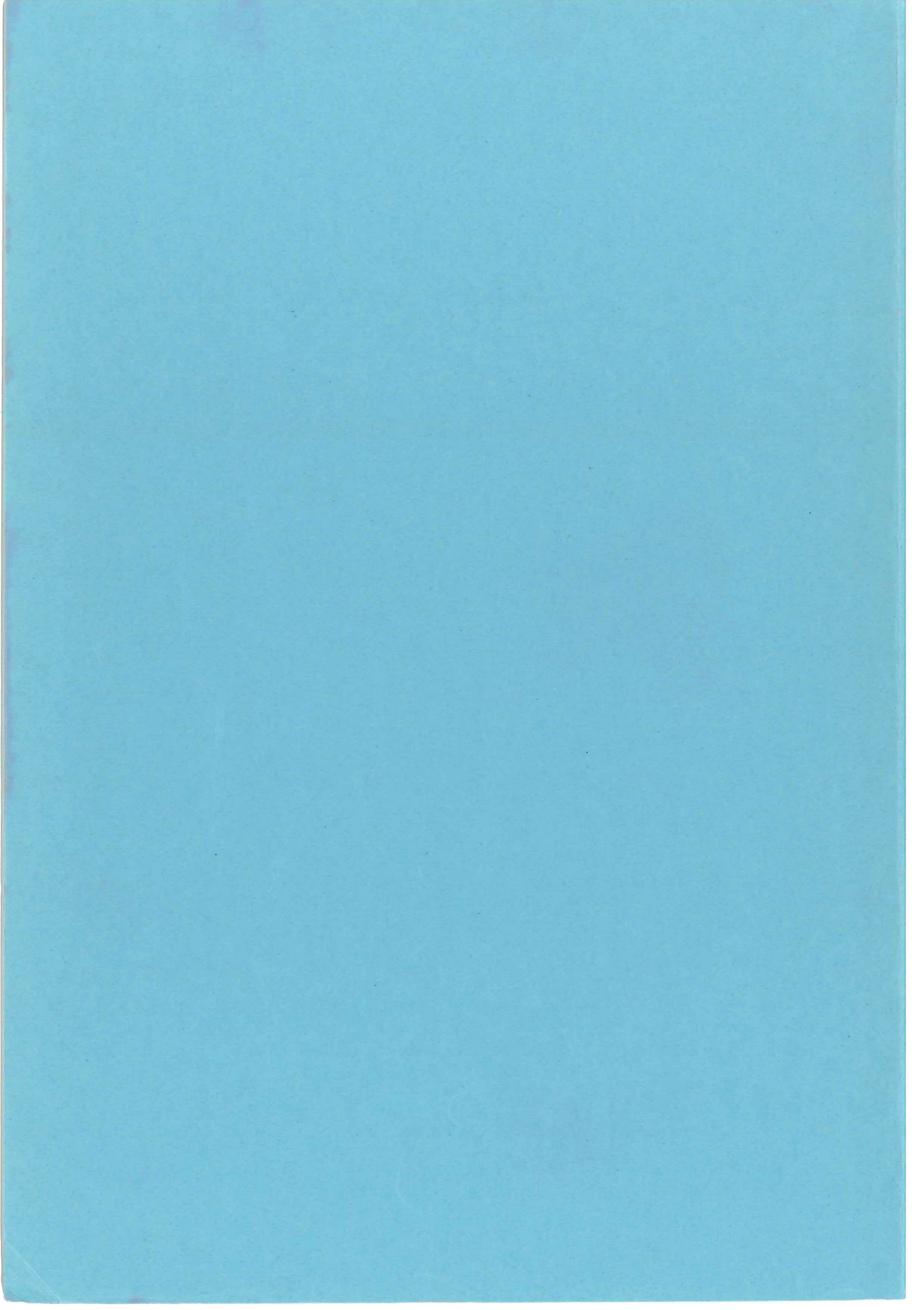
平成12年度

山口県内における
産業保健実態調査
報告書

平成13年3月

労働福祉事業団

山口産業保健推進センター



ま え が き

世の中はまさに、いわゆる不景気の中にあり、耳目にするもの、不況不況、下方修正の言葉が氾濫しているようです。

と言っても、「事故」や「病」は好不況に関わらずやってき、決して今は不況だからと待ってくれないのが現実でしょう。とすれば、不況なのでと言って産業界の現場で健康管理の縮小をしようなどとは、とんでも無い筈です。

もし太郎さんの家に、不幸にも極めて強い財政危機が訪れたとします。その上太郎さんが病で倒れますと、一家は明日の生活にも困ることになりましょう。太郎さんの家族が揃って元気だったらどうでしょうか。少々の財政危機は、一家が勢を揃えて頑張り抜けるのではないのでしょうか。企業とて同じことになる筈です。

事業主、管理者の方々も、不況と言われる今だからこそ、方法は従来型でなくとも、手抜き無く勤労者の健康に留意され、明るく、健全な職場形成に心配りが頂けたらと感じています。

私共は、そんな職場へ、勤労者の真の健康管理をなさる産業保健に携わるの方々への支援が出来るようにと念じて日々努めております。

今回、山口産業保健推進センター発足6ヶ月経過時点での産業医、事業場の方にアンケートをお願いいたしました。

残念なことに回収率30%前後と言った結果となりました。更に、回答頂いた方の内、可成りの方が推進センターを充分ご理解頂けていないと言う現実に見まわれました。

未回収分が未理解ゆえに回答しなかったと考えますと、問題ありと言われても仕方がありますまい。その他の回答も理解が行き届いていないに基づくものと解釈できそうです。

そこで、頂きました回答を熟慮いたし、今後短期間に産業保健推進センターが十分理解・応用可となることを全企画の中心に置くことと致しました。

更に次年度の調査研究との連結を充分に考え、念願としております産業保健従事者のネットワーク作りを強力にすすめ、勤労者の安全と真の健康管理に役立ちたいと考えています。

最後になりましたが、ご多忙中アンケートにご協力いただきました方々に篤く御礼申し上げます。

2001. 4. 1

山口産業保健推進センター

所 長 田 村 陽 一

目 次

1. 調査概要	1
I. 調査目的	1
II. 調査方法	1
III. 調査体制	1
IV. 調査結果概要	2
A. 産業医対象調査	11
I. 産業保健活動の支援サービスについて	11
1. 産業保健センター全般について	11
2. 産業保健活動の専門的な内容についての相談窓口・実地相談について	13
3. 産業保健に関する事例をもとにしたケーススタディやケースカンファレンスによる 研修について	14
4. 県医師会等の主催する産業医研修への支援について	15
5. 調査研究の成果の活用について	16
6. 図書・教材の閲覧・貸出し等による産業保健に関する情報収集について	17
7. 産業保健推進センターで整備している産業保健情報システムについて	18
II. 労災病院について	20
III. 産業医の先生ご自身について	20
1. 先生ご自身のことについて	20
2. 産業医の要件について	22
3. 地域産業保健センターについて	23
4. 小規模事業場産業保健活動支援促進事業について	24
5. 産業医としての勤務形態について	25
IV. 先生の現在の産業保健活動の実施状況及び事業場における産業保健上の課題について	25
1. 産業保健活動の実施状況について	25
2. 産業医を引き受けている事業場について	26
3. 現在の産業保健活動の実施内容について	28
4. 現在の先生ご自身の産業保健活動について	29
B. 事業所対象調査	30
I. 産業保健活動の支援サービスについて	30
1. 産業保健推進センター全般について	30
2. 産業保健活動の専門的な内容についての窓口相談・実地相談について	32
3. 産業保健担当スタッフに対する研修について	33
4. 調査研究の成果の活用について	34
5. 事業主セミナーについて	34

6. 図書・教材の閲覧・貸出し等による産業保健に関する情報収集について	35
7. 産業保健推進センターで整備している産業保健情報システムについて	36
II. 労災病院についておたずねします	38
III. 貴事業場についておうかがいします	38
1. 貴事業の概要について	38
IV. 貴事業場における労働衛生管理についておうかがいします	39
1. 貴事業場における労働衛生管理を行う部門	39
2. 労働衛生担当スタッフの職種	40
3. 貴事業場の健康管理、労働衛生について	41
4. 現在の貴事業場の産業保健活動について	41
5. 今後の貴事業場の産業保健活動について	42
6. 産業保健活動を実施する上での問題点について	43
2. 調査票	45
1. 産業医対象調査票	45
2. 事業所対象調査票	59

1. 調査概要

I. 調査目的

労働福祉事業団は産業保健活動の活性化を通じ、労働者の健康を確保するため、産業保健関係者、関係機関の支援拠点として、都道府県毎に産業保健推進センターを平成5年から順次設置する事としており、現在38センターで業務を実施しているところである。

本産業保健推進センターの主な業務内容としては①窓口相談・実地相談、②情報の提供、③研修、④調査研究、⑤広報啓発、⑥助成金の支給などがあげられる。

本調査は、山口産業保健推進センターの今後の事業の展開のあり方を検討するための基礎資料とするため、産業医、事業場の産業保健担当者を対象として産業保健の各種支援サービスに対するニーズを明らかにする事を目的とする。

II. 調査方法

(1) 調査対象

① 山口県内一円

② 調査対象数

a) 産業医 774人

b) 事業場 1,575件

(2) 事業場ならびに産業医調査のサンプリング方法

事業場調査においては、従業員50人以上の1,575件の事業場について、また産業調査においては産業医774名を選定しアンケートを実施し、表1-1、1-2の通り回答を得た。

表1-1 規模別回答事業場割合

規模(人)	1~49	50~99	100~199	200~299	300~499	500~999	1000人以上
回答割合(%)	13	40	24	9	6	5	3

*回収率 30.2% (1,575件中、回答件数477件)

表1-2 産業医歴別回答割合

規模(人)	5年未満	5~9年	10年~19年	20年以上
回答割合(%)	29	17	39	15

*回収率 29.5% (774件中、回答件数228件)

III. 調査体制

(1) 調査検討委員会

委員長 山口産業保健推進センター所長 田村 陽一

副委員長 産業保健相談員(産業医学担当) 芳原 達也

委員 山口大学医学部公衆衛生学助教授 奥田 昌之

委員 山口大学医学部公衆衛生学助手 國次 一郎

(2) 調査機関 労働福祉事業団、山口産業保健推進センター

IV 調査結果概要

(A) 産業医対象調査

I 産業保健活動の支援サービスについて

1. 産業保健推進センター全般について

問1の先生は産業保健推進センターをご存じですか。との問いについて

名前は聞いたことがあるが57%

知らないが43%でした。

ア. 先生はどのようにして産業保健推進センターを知りましたか。

との問いに関して、知人55%、研修会20%

センターから11%でした。

イ. 先生は産業保健推進センターを利用したことがありましたか。

の問いに関しては利用したことがない人ばかりでした。

問2の先生は産業保健推進センターが提供する支援サービスを利用したいと思いますか。

については是非利用したいが20%、利用してもよいが61%、利用するつもりがないが19%でした。

なぜ利用しませんかの問いについて活動していないから23%、内容を知らないが40%、特になしが14%でした。

問3の産業保健推進センターでの支援サービスの利用意向は調査研究、事例検討、相談等が利用したい意向が多かった。

2. 産業保健活動の専門的な内容についての窓口相談・実地相談について

問4の産業保健活動を実施する上で、産業保健の様々な分野の専門家に相談したいと思うことがありますか。の問いについて、よくまたはしばしばあるが10%、たまにあるが33%、あまりないが33%でした。

ア. どのような内容について相談したいと思いますか。

については、健康診断の事後措置、環境改善・メンタルヘルス・カウンセリング・有害業務職場復帰が30~50%、健康診断・職場巡視・作業方法・快適職場づくりが20%前後でした。

イ. どのような専門分野をもつ専門家と相談したいと思いますか。

については、産業医学が46%、メンタルヘルスが30%、労働衛生工学とカウンセリングが20%でした。

3. 産業保健に関する事例をもとにしたケーススタディやケースカンファレンスによる研修について

問5のケーススタディやケースカンファレンスの課題として、どのような内容がよいと思われますか。の問いについて、健診データと健康管理、勧告・助言指導、メンタルヘルスが約30%、職場復帰、T H P、職場巡視、職場環境の改善が15~25%でした。

問6のケーススタディやケースカンファレンスに参加するとした場合に、ご都合のつきやすい日時はいつですか。との問いについて
日曜、祝日、土曜日が40%以上、平日の夕方が21%でした。

問7のケーススタディ研修を実施する方法として、どのような方法が良いと思われますか。との問いで、講演が62%、グループ会議15%、現場実習が17%でした。

4. 県医師会の主催する産業医研修への支援について

問8の県医師会等の主催する産業医研修において、産業保健推進センターにどのような支援を期待しますか。について、講師の派遣紹介が51%、実地研修の受入紹介が32%、教育教材の貸出13%でした。

ア. どのような内容の講義ができる講師の派遣や紹介が望ましいですか。の問いに関して、メンタルヘルス46%、健診の事後指導35%、生活習慣病の予防27%、労働衛生行政、法規、作業環境管理、職場復帰が17~19%でした。

5. 調査研究の成果の活用について

問9の産業保健推進センターでは今後、産業保健活動に役立つ調査研究を実施し、調査研究の成果を活用していく予定ですが、どのようなものを利用したいですか。の問いに関して、職場巡視用チェック、健康診断、健康相談が約20%で、有害業務の衛生管理、健康影響評価、作業環境改善、心の健康管理が約10%であった。

6. 図書・教材の閲覧・貸出し等による産業保健に関する情報収集について

問10の先生は現在、産業保健に関する定期刊行物を購読していますか。の問いについて
定期的に購読しているが9%、必要時に購読しているが20%でした。

ア. それらの専門誌や情報誌の内容として不足していると思われるものについての問いについて、
健康管理上の問題と対応、産業保健活動の手法、化学物質の生体影響と取扱指針が30%以上、
産業保健活動の事例、業務上疾病の認定事例、法律アドバイスが20~27%でした。

問11のどのような図書・教材の閲覧・貸出等を希望しますか。との問いに関して、ビデオ65%、専門図書32%、学会誌等28%でした。

7. 産業保健推進センターで整備している産業保健情報システムについて

問12の今後、産業保健活動を展開する上で、どのような分野・内容の情報をデータベースとして整備すべきだとお考えですか。の問いについて

産業保健活動の手法が43%、産業保健活動の事例、業務疾患の認定、化学物質の生体影響等が12～17%でした。

問13の先生のところでは、FAXやインターネットが利用できますか。

問いで、インターネットは65%が利用可で、FAXのそれは96%でした。

またセンターのホームページを利用しましたかでは98%が利用していないでした。

Ⅱ 労災病院についておたずねします。

問15の山口労災病院をご存じですか。問いに関して、よく知っている65%、名前は聞いたことがあるが34%でした。

問16の労災病院では疾病の予防活動に寄与するため、産業保健料や次ページの表示す専門センターを設置し、産業医の方に対して以下の事項を行うこととしています。の問いに関して、専門医師による相談窓口、検査、診察の紹介窓口、職業疾病の臨床事例の情報提供では、是非利用したいが9～12%、利用しても良いが56～59%でした。症例検討会の開催では是非参加したいが5%、参加しても良いが42%でした。

Ⅲ. 産業医の先生ご自身についておうかがいします。

1. 先生ご自身のことについて

年齢は40代が28%、50代が27%、60才以上が42%でした。

性別では女性が8%、で残りは男性、医師会への所属は98%が所属しているようでした。

2. 産業医の要件について

問21の平成10年10月から産業医の要件に関する改正労働安全衛生法が施行されました。現在、先生が備えていらっしゃる要件は、以下のうちどれですか。の問いについては、日本医師会の産業医学基礎研修の修了者が85%、産業医の経験年数3年以上が26.5%でした。

ア. 今後、どのような要件を備えることをお考えですか。の問いでは、医師会の産業医が30%、特に考えていないが62%であった。

3. 地域産業保健センターについて

問22の先生は地域産業保健センターをご存じですか。の問いについて、よく知っているが55%、名前は聞いたことがあるが33%でした。

問23の先生は地域産業保健センターの名簿に登載（登録）されていますか。では、登録されているが63.6%でした。

問24の先生は地域産業保健センターで活動していらっしゃいますか。では、43%の先生が活動していた。

ア. 先生は地域産業保健センターに対する支援サービスとして、どのようなサービスを利用したいと思えますか。の問いに関して、10%以上の希望を示したのは、ケーススタディ、ケースカンファレンス研修等、個別訪問産業保健指導の現地相談、健康相談や個別訪問産業保健指導のマニュアル配布、地域の小規模事業場の産業保健の実情分析と方策の立案提言、産業保健に関する情報の提供、でした。

4. 小規模事業場産業保健活動支援促進事業について

問25の先生は産業保健推進センターで行っている小規模事業場産業保健活動支援促進事業（産業医共同選任事業）についてご存じですか。についてよく知っているが24.3%、名前は聞いたことがある32.5%でした。

5. 産業医としての勤務形態について

問26の先生は、「専属産業医」ですか、「非専属産業医」ですか。について、専属産業医が25%、非専属産業医が61%でした。

IV. 先生の現在の産業保健活動の実施状況及び事業場における産業保健上の課題についておうかがいします。

1. 産業保健活動の実施状況について

問27の産業医としての経験年数では、10～20年が約40%、5年～10年が17%、5年未満が29%でした。

問28の先生は、いくつかの事業場から産業医として選任なれていますか。

では、1カ所が36%、2カ所が30%、3カ所が18%でした。

問29の先生が産業保健活動に費やされる時間は一事業場当たり毎月平均何時間位ですか。

では、1時間未満が46%、1～4時間が35%、5～10時間が8%でした。

2. 産業医を引き受けている事業場について

問30のその事業場の従業員についておうかがいします。では、50人未満21%、50～99人 32%、100～199人 22%、200～300人 9%でした。

問31のその業種は何ですか。では、サービス業が27%、運輸業12%、機械器具が9%、鉄鋼、非鉄金属が5%でした。

問32のその事業場には、有害業務がありますか。では、あるが40%でした。

問33の現在、先生がその事業場で産業保健活動を実施する上で、何かお困りのことがありますか。

では、あるが28%でした。

ア. どのような点でお困りですか。

従業員の関心がないが40%、時間的余裕がないが28%、事業主の理解がない、衛生管理者が活動していない、保健婦、看護婦のスタッフがいないが17～18%でした。

問34のその事業場で産業保健上の課題は何ですか。では、生活習慣病が53%、メンタルヘルス30%、作業形態による障害19%、健康保持増進対策が14%、化学物質や粉塵は13%でした。

3. 現在の産業保健活動の実施内容について

問35の先生が現在重点的に実施している業務内容は何ですか。では、健康診断の事後措置が76%、健康相談が57%、健康衛生教育が20%、現場巡視が13%でした。

問36の先生が今後重点的に実施したい業務内容は何ですか。では、健康診断の事後措置が46%、健康相談が39%、健康・衛生教育が27%、メンタルヘルスが23%でした。

問37の健康診断の事後措置に関連しておうかがいします。では、

- ・ 有所見者の健診結果について事業場に意見を述べる。
- ・ 健診結果の個人票すべてに目を通し、押印している。
- ・ 検診結果に基づき、必要な労働者に対し、保健指導を行う。が、60%以上でした。

4. 現在の先生ご自身の産業保健活動について

問38の先生は、現在のご自身の産業保健活動についてどのようにお考えですか。

では、十分活動しているが14%、十分活動していないが56%どちらでもないが30%でした。

(B) 事業場対象調査

1. 産業保健推進センター全般について

・産業保健推進センターを知っているかの問いで、よく知っているが約15%、名前を聞いたことがあるが45%、はじめて知ったが約40%であった。

・次にどのようにして知ったかは、産業保健推進センターから直接送られてきたパンフレットやリーフレットを見て知ったが最も多く約50%、次に講演会や研修会が約20%、労働基準協会を通じて知ったが約20%であった。

問1の「産業保健推進センターを利用したことがありますか」の問いに関して約10%しか利用したことがありませんでした。

問2の産業保健推進センターが提供する支援サービスを利用したいと思いませんか。の問いに関して是非利用したいが19%、利用してもよいが67%、利用するつもりがないが14%でした。

何故利用しないのですかの問いで内容を知らないが40%、活動していないが16%でした。

問3で産業保健推進センターにおけるサービスに対する意向は、利用してもよいと是非利用したいが60~70%で、利用しないが20~30%であった。

2. 産業保健活動の専門的な内容についての窓口相談・実地相談について

「問4の産業保健活動を実施する上で、産業保健の様々な分野の専門家に相談したいと思いませんか。」という問いに関して、「よくある」から「たまにある」までが34%、その他は「ほとんどない」か「あまりない」であった。

上記の質問でそのような内容について相談希望かという問いに関して、「健康診断の事後措置」「労働衛生教育」「健康づくりの方法について」「メンタルヘルス」「快適職場づくり」の5項が30~40%であり、その他は20%以下であった。

イ. どのような専門分野をもつ専門家と相談したいと思いませんか。については、産業医学・労働衛生工学・メンタルヘルス・保健指導等の専門家が30%以上であった。

3. 産業保健担当スタッフに対する研修について

問5の貴事業場には、産業保健担当スタッフとして、保健婦・士や看護婦・士がいますかとの問いに関して約20%であった。この内、このスタッフに関する研修内容はどの様な項目を望みますかに関しては、「産業保健全般の体系的知識」と、「保健指導」が20%以上でその他、「THPについて」とか

「健診データの整理・分析」が15%前後であった。

4. 調査研究の成果の活用について

問6の産業保健推進センターでは今後、産業保健活動に役立つ調査研究を実施し、調査研究の成果を活用していく予定ですが、どのようなものを利用したいですか。の問いでは、「職場巡視用チェックリスト」「健康診断マニュアル」「健康相談マニュアル」「心の健康管理マニュアル」の項目が20%以上でした。

5. 事業主セミナーについて

問7の産業保健推進センターでは、企業として従業員の健康管理対策に取り組むことの重要性を理解していただくため、事業主セミナーを開催しています。そのような演題に関心をお持ちですかの質問では、「従業員の健康管理対策の企業責任に関すること。」「労務管理と健康管理」「生活習慣病（成人病）と従業員の健康づくり」の3項目が高い割合を示しました。

6. 図書・教材の閲覧・貸出し等による産業保健に関する情報収集について

問8の現在、産業保健に関する定期刊行物を購読していますか。との問いでは、定期的に購読しているが15%、必要な時に購読しているが13%、ほとんどないが72%でした。

また、定期刊行物の専門誌や情報誌で内容として不足しているものとしては、「最近の健康管理上の問題と対応策」「産業保健活動の手法・ノウハウの解説」「産業保健活動の事例紹介」「業務上疾病の認定事例の解説」「産業保健活動に関する法律アドバイス」が20%以上の値を示しました。

問9のどのような図書・教材の閲覧・貸出等を希望しますか。

では、ビデオが72%、専門図書が34%、学会誌が21%でした。

7. 産業保健推進センターで整備している産業保健情報システムについて

問10の今後、産業保健活動を展開する上で、どのような分野・内容の情報をデータベースとして整備すべきだとお考えですか。との問いでは、「産業保健活動の手法」「業務上疾病の認定に関する事例」「産業保健活動の事例」「労働衛生・健康教育に関する教材」「産業保健・労働衛生関係の法令・判例」が多く望まれました。

問11の貴事業場では、FAXやインターネットが利用できますか。との問いでは、FAX利用可が99.4%、インターネット利用可が69.7%でした。

Ⅱ. 労災病院について

問13の山口労災病院をご存知ですかの質問に対してよく知っているが35.2%、名前は聞いたことがあるが54.3%であった。

問14の労災病院に設置されている専門センターの利用について、「関係情報の提供」と「勤労者、健康管理担当者を対象とした研修、講習会」の項目では是非利用したいと利用してもよいの合計が66～73%であったのに対して「検査・診察の紹介窓口」「専門の医師による相談窓口」とでは53～54%であった。

Ⅲ. 事業所について

問16の貴事業場の業種については、「サービス業（医療・教育を含む）が18%、建設業が11%、運輸業9%、卸売・小売業7%、等々でした。

問17の貴事業場の常用労働者数（派遣社員を除く）では、1～49人が13%、50～99人が40%、100～199人が24%、200～299人が9%、等でした。

問18の貴事業場には有害業務がありますか。では、ありが42.1%、ないが57.2%でした。

問19の現在、貴事業場において福利厚生施策のうち特に重点的に実施しているものについては、「慶弔見舞金制度」が62.4%、「企業年金」「従業員の自己啓発に対する援助」「従業員の健康づくり」が30～40%であった。

Ⅳ. 事業場における労働衛生管理について

1. 事業所の労働衛生部門について

問20の事業場における労働衛生管理を行う部門」では、病院が8%、診療所等が19%、人事・総務部門が45%、特になしが26%でした。

2. 労働衛生スタッフについて

問21の事業場における労働衛生担当スタッフの職種では、衛生管理者が84%、非専属産業医41%、専属産業医31%、看護婦が17%、であった。

次に産業医の採用経路では、他の会社の紹介が13%、医療機関の紹介が9%、知人が8%の順であった。

「事業場の産業医の先生は、どの要件を備えていますか」の問いに、医師会の研修の終了者が40%、産業医3年以上の経験者34%、産業医大出身者7%等であった。

3. 事業場の健康管理、労働衛生について

問22の貴事業場では従業員の健康管理に対して次のどれに最も近い考えをお持ちですか。

の問いについて「従業員の健康管理は会社の経営の根幹と位置づけて行っている」が68%、で次いで「従業員の健康管理は法律で義務づけられているから行っている。」が26%であった。

問23の現在貴事業場で以下のような労働衛生上の課題がありますか。の問いに関して、生活習慣病が49%、快適職場づくりが32%、作業形態による健康障害が24%であった。

4. 現在の貴事業場の産業保健活動について

問24貴事業場が現在重点的に実施している業務内容は何ですか。について、健康診断の事後措置が67%、快適職場づくり31%、作業方法の改善、作業環境の改善、健康衛生教育、健康相談が14~19%であった。

問25の貴事業場の産業医に重点的に実施して欲しい業務内容は何ですか。の問いに関して、健康診断の事後措置と健康相談が50%前後、健康・衛生教育が23%、メンタルヘルス、職場巡視が10~15%、快適職場づくり、健康保持増進対策が8~9%であった。

問26の健康診断の事後措置に関連しておうかがいします。現在健康診断の事後措置に関連してどのようなことを実施していますか。に対して、健診結果の通知が88%、医師等による保健指導が57%、医師歯科医師の意見を聞くが54%、就業場所の変更が39%でした。

5. 今後の貴事業場の産業保健活動について

問27の貴事業場が今後重点的に実施したい業務内容は何ですか。の問いに関して、健康診断の事後措置が45%、快適職場づくり34%、メンタルヘルス、健康衛生教育、教育相談が18~22%、健康保持増進対策、作業方法の改善、作業環境の改善が10~16%であった。

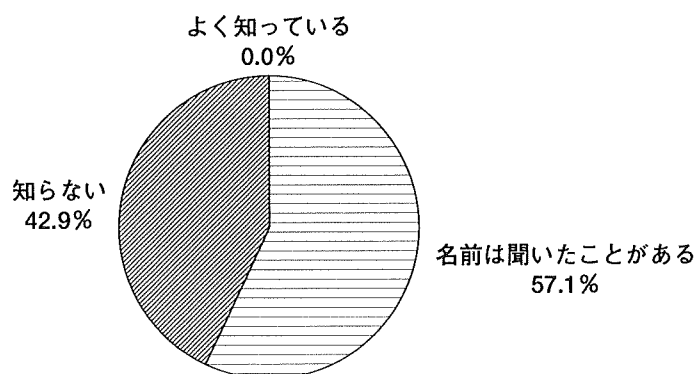
問28の今後、産業医に重点的に健康教育に取り組んでもらうとした場合、どのような内容の教育に力を入れて欲しいですか。の問いに対して、生活習慣病77%、メンタルヘルス32%、運動及び栄養指導、腰痛、VDT、禁煙が20~22%であった。

6. 産業保健活動を実施する上での問題点

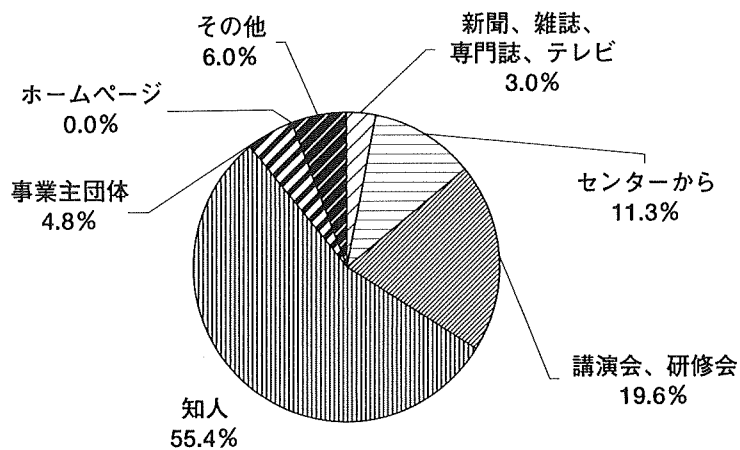
問29の現在、事業所が産業保健活動を実施する上でどのような問題があるとお考えですか。の問いに対して、従業員の産業保健に対する関心が低い44.7%、産業保健の人材が十分得られない25%、経営上、十分な産業保健活動を行う余裕がない22%であった。

A. 産業医対象調査

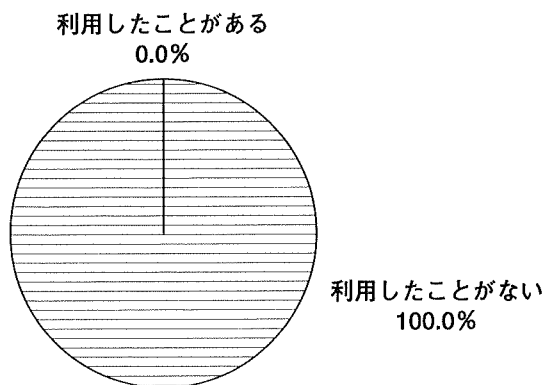
問1 産業保健推進センターを認知度



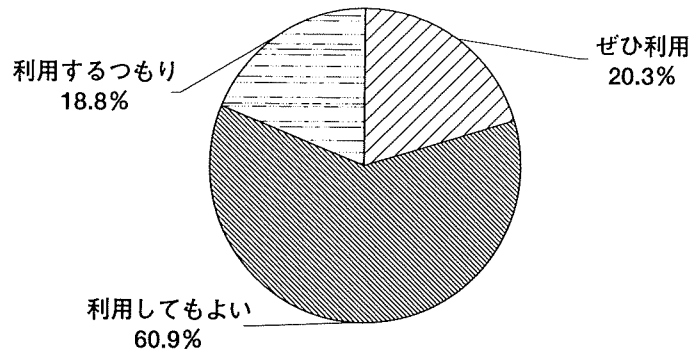
問1ア どのようにして知ったか



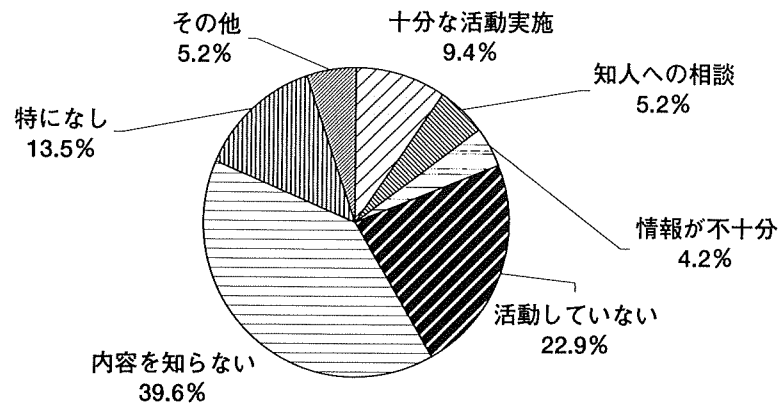
問1イ センターの利用



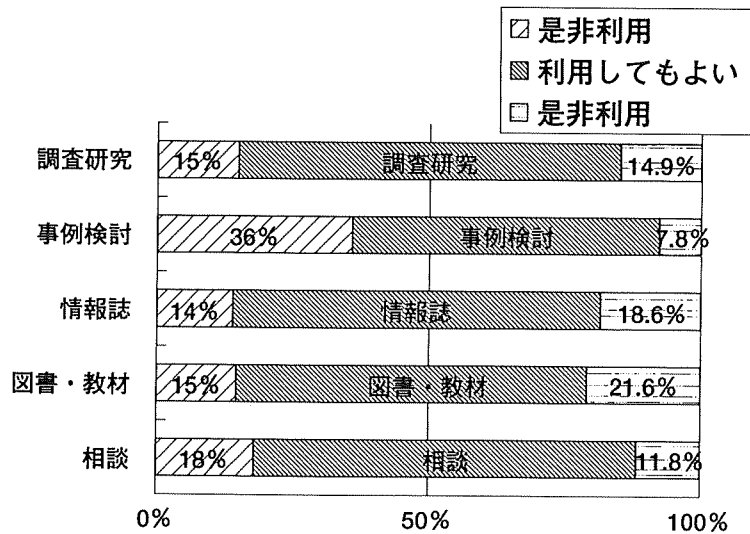
問2 センターの支援サービス利用希望



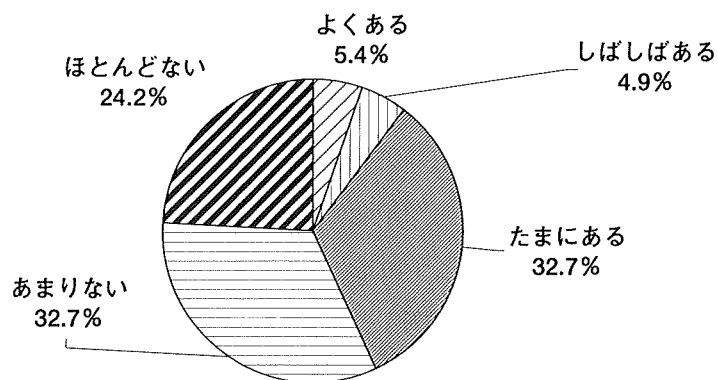
問2ア 支援サービスを利用しない理由



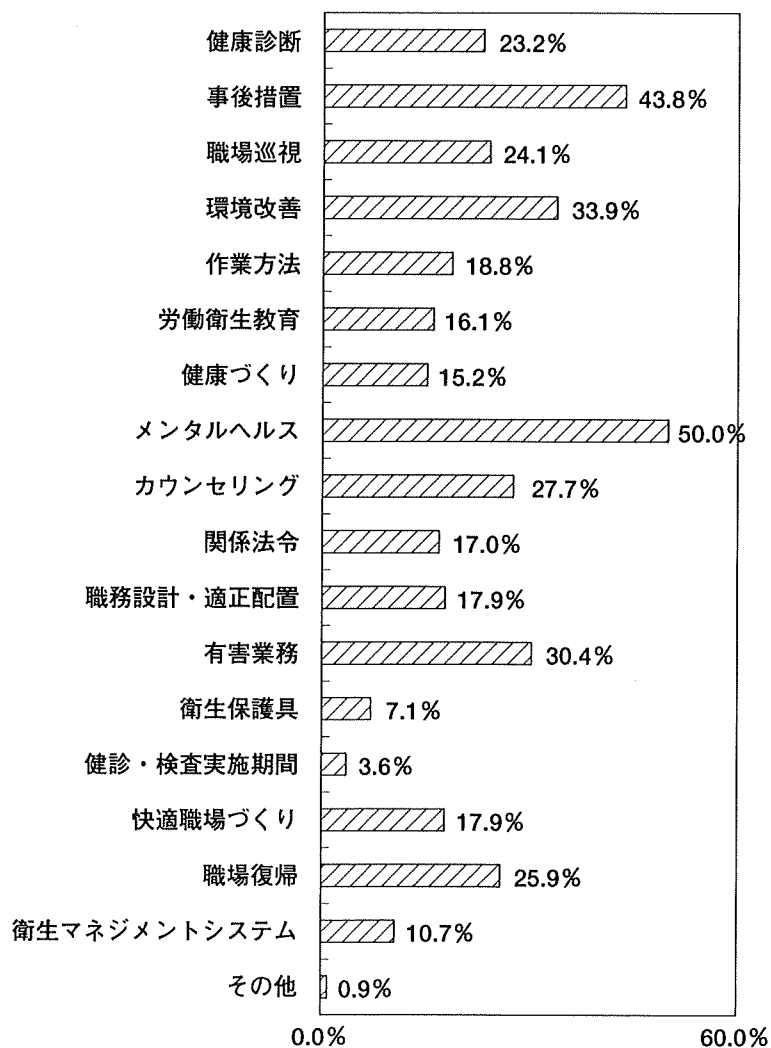
問3 支援サービスの利用意向



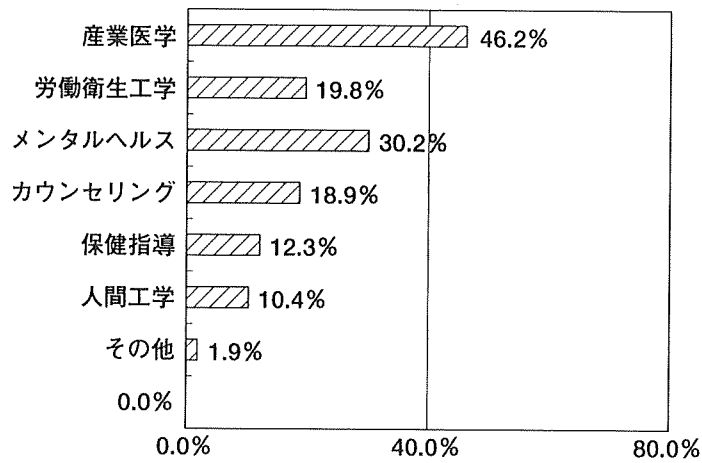
問4 専門家への相談希望



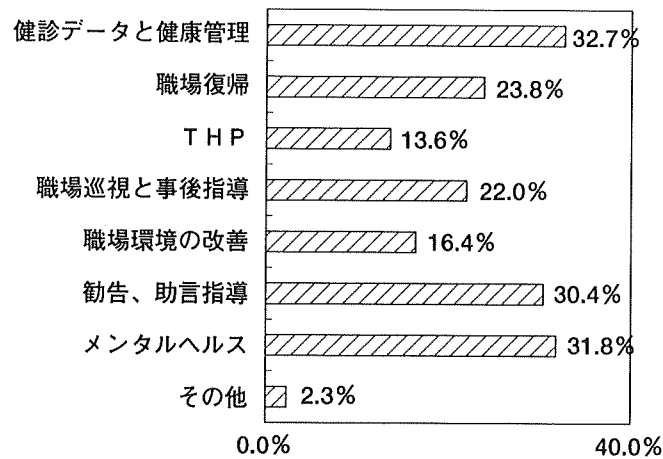
問4ア 相談希望の内容



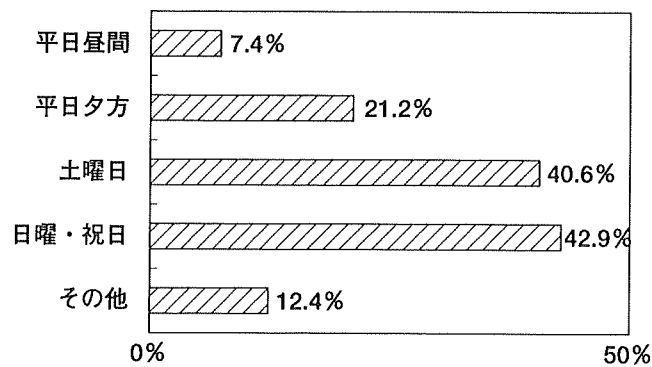
問 4 イ 相談希望の専門職



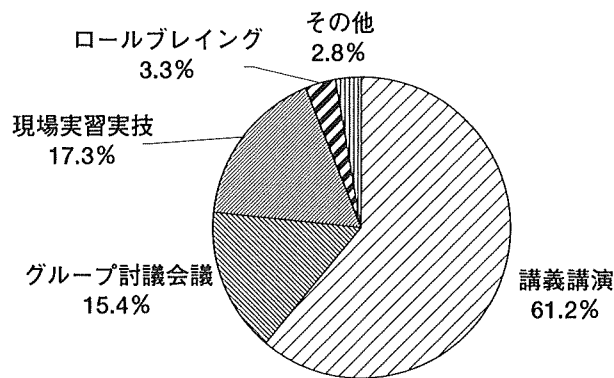
問 5 ケーススタディやケースカンファレンスの課題



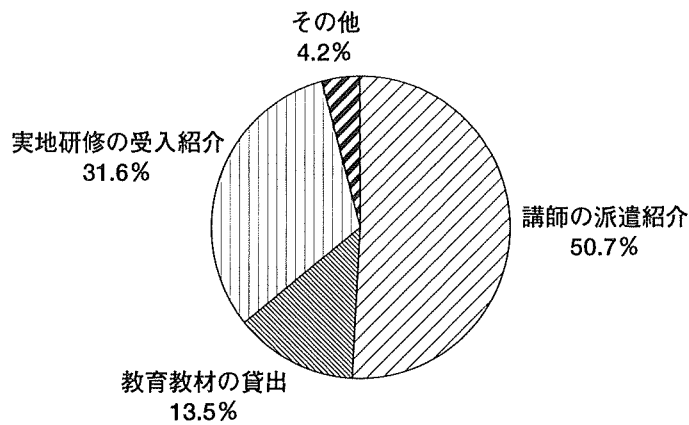
問 6 ケーススタディやケースカンファレンスの開催希望曜日



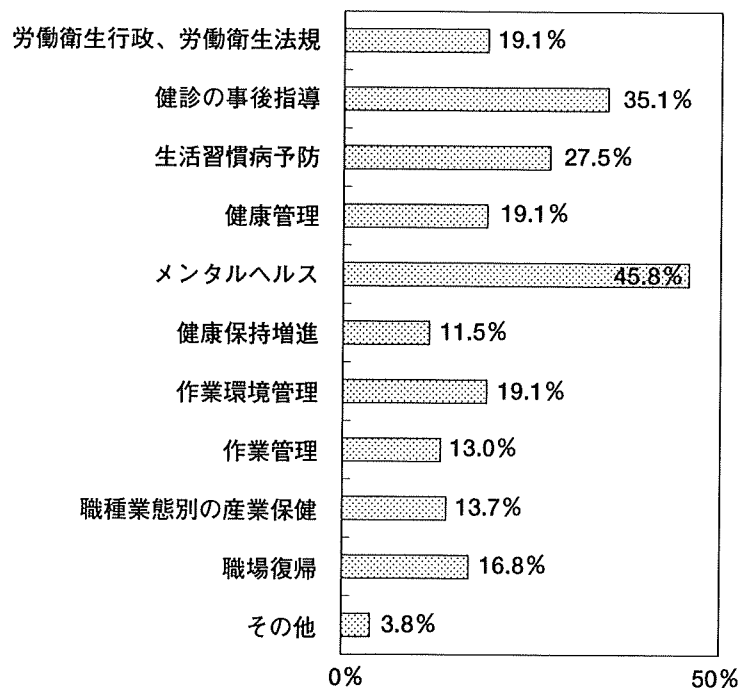
問7 ケーススタディ研修の希望実施方法



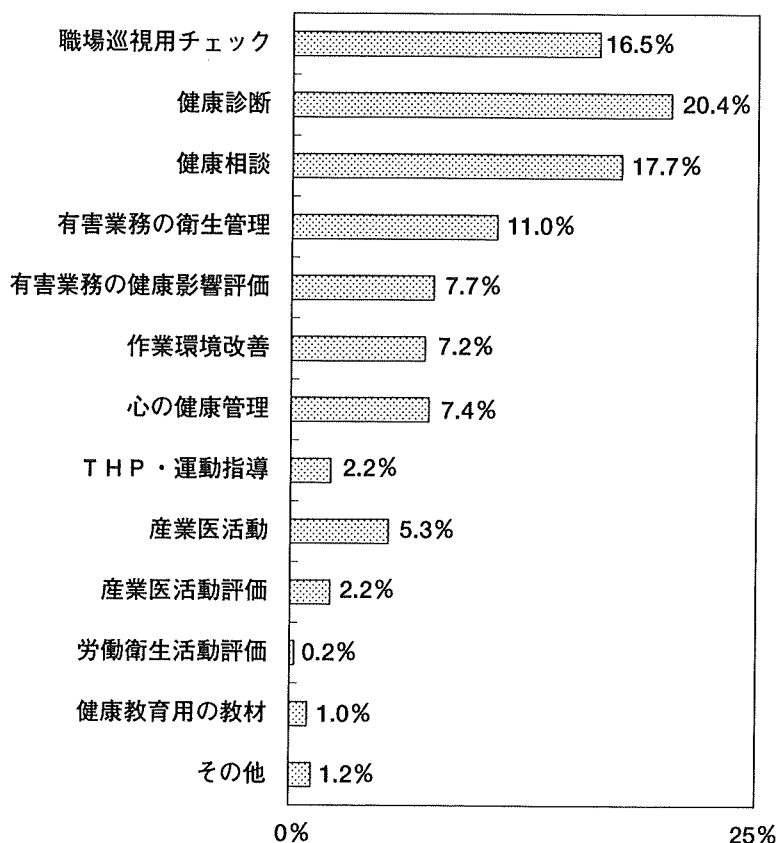
問8 県医師会産業医研修でのセンターの支援



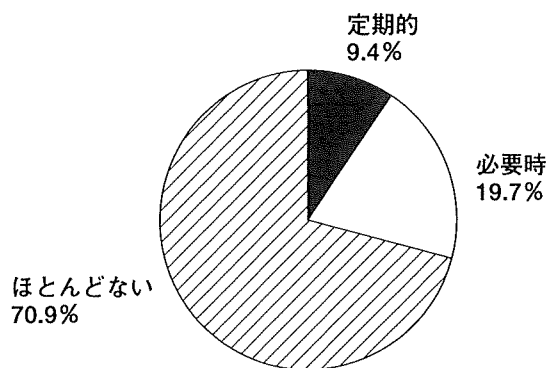
問 8 産業医研修での講師希望



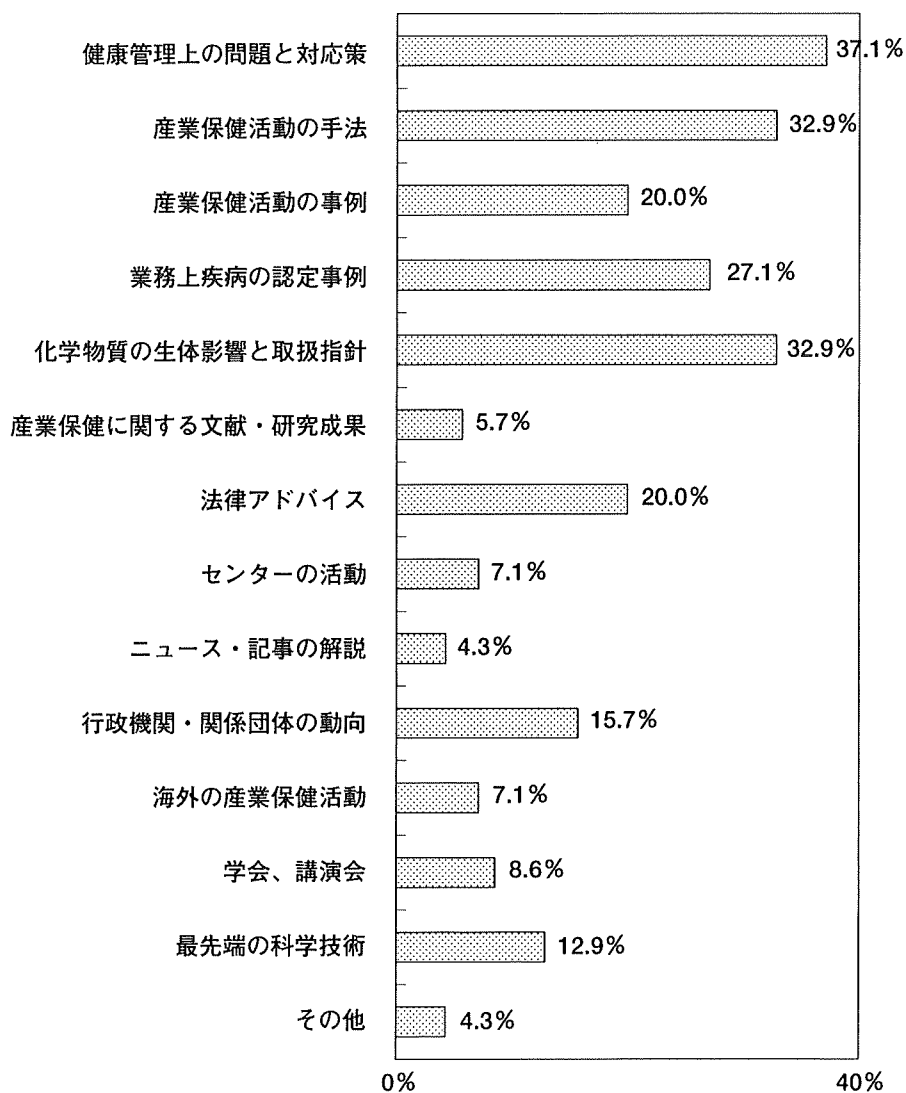
問 9 センターの調査研究活用希望



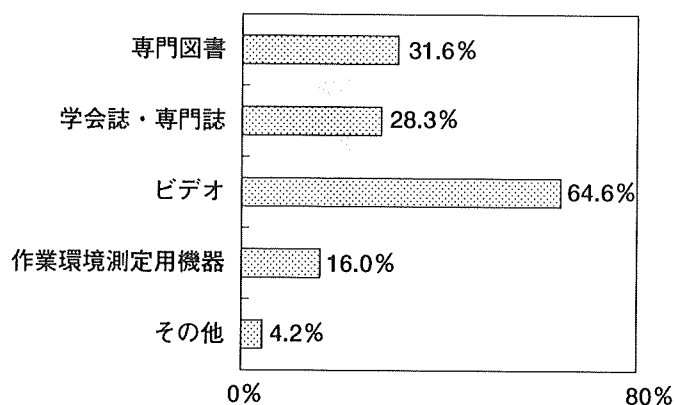
問10 定期刊行物の購読



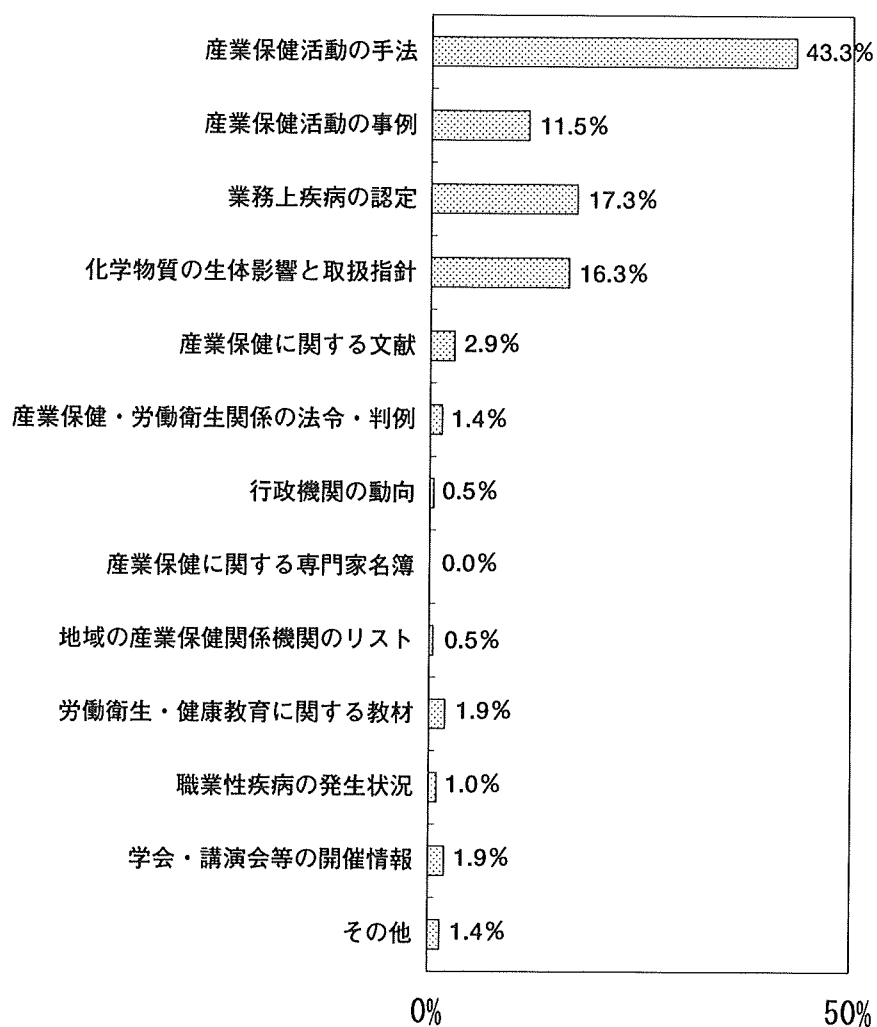
問10ア 専門誌、情報誌で不足の内容



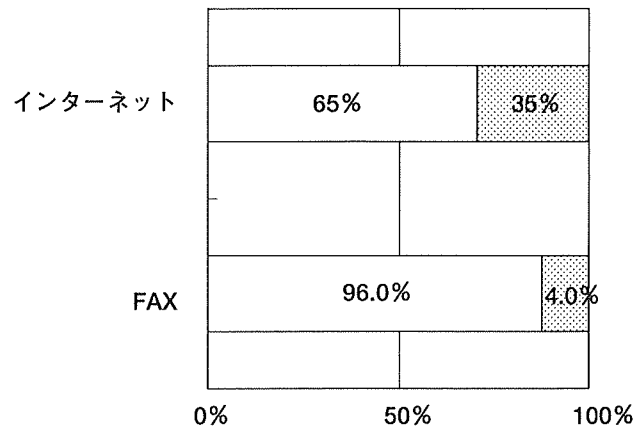
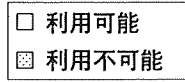
問11 図書、教材の閲覧貸出希望



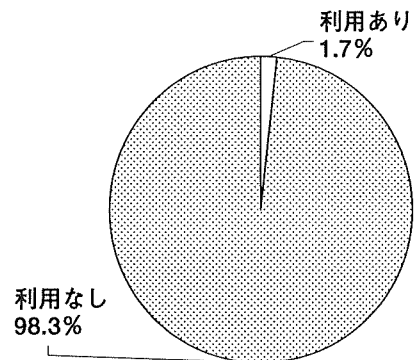
問12 情報のデータベース化の要望



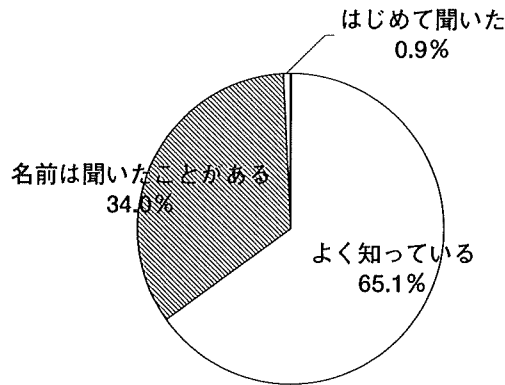
問13 情報の利用可能状況



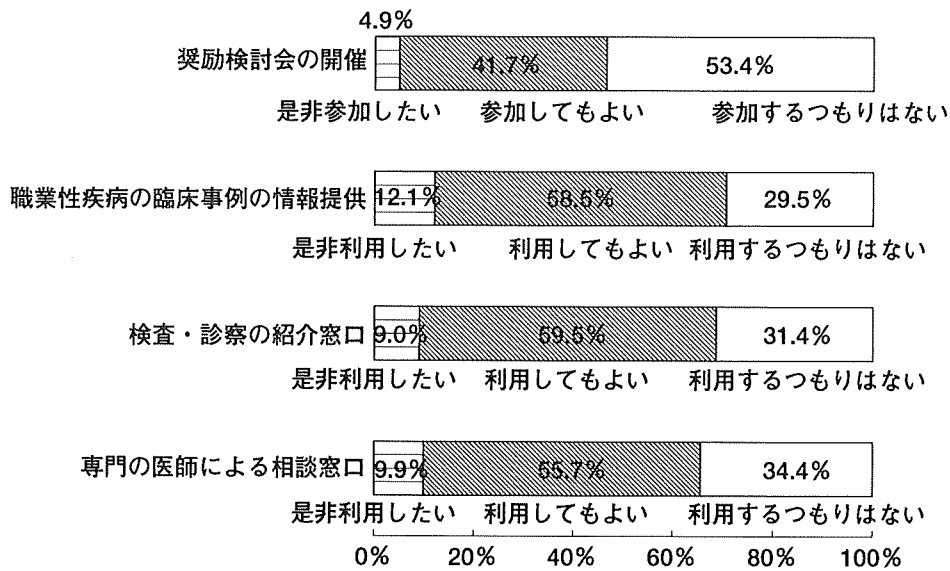
問13ア センターのホームページ閲覧



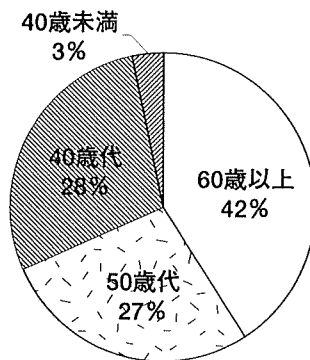
問15 山口労災病院を知っているか？



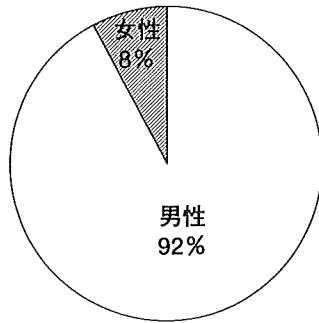
問16 労災病院の専門センターの利用について



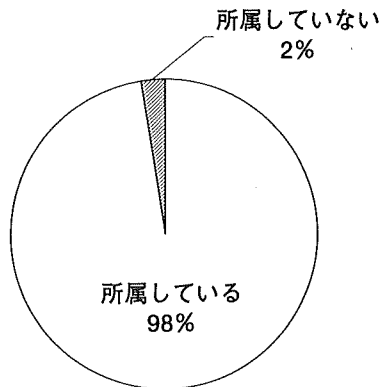
問18 産業医の年齢



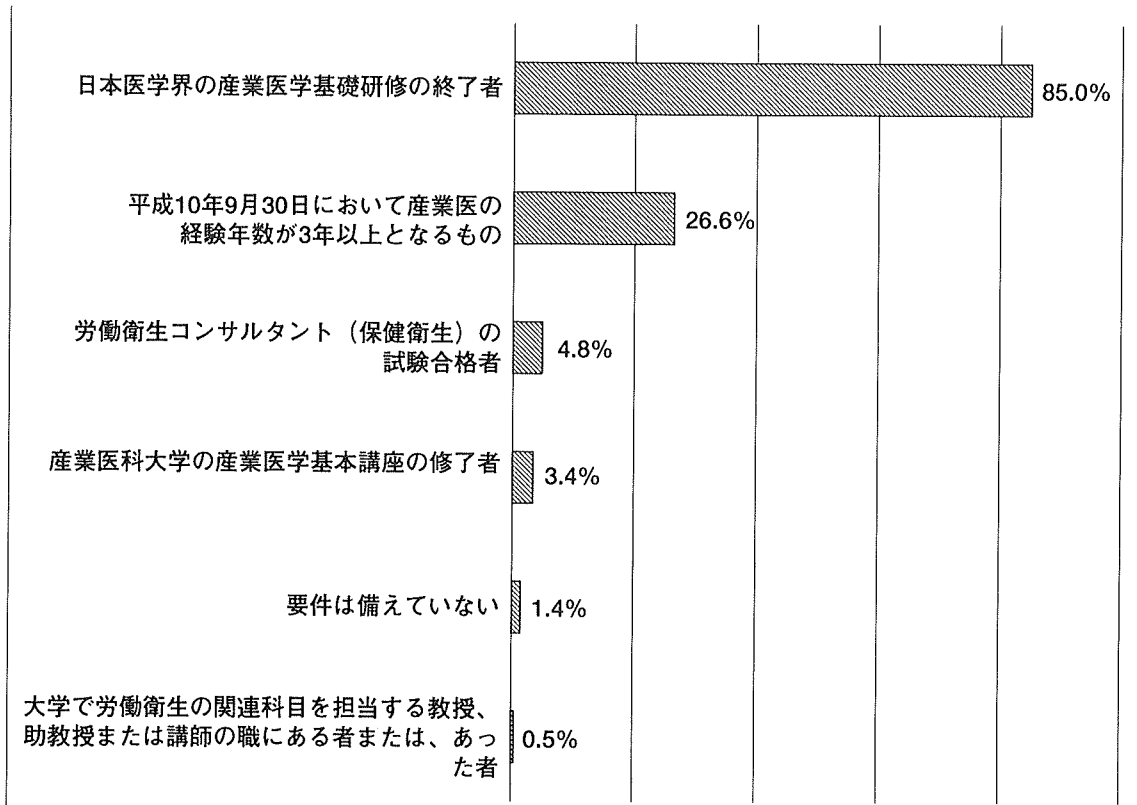
問19 産業医の男女比



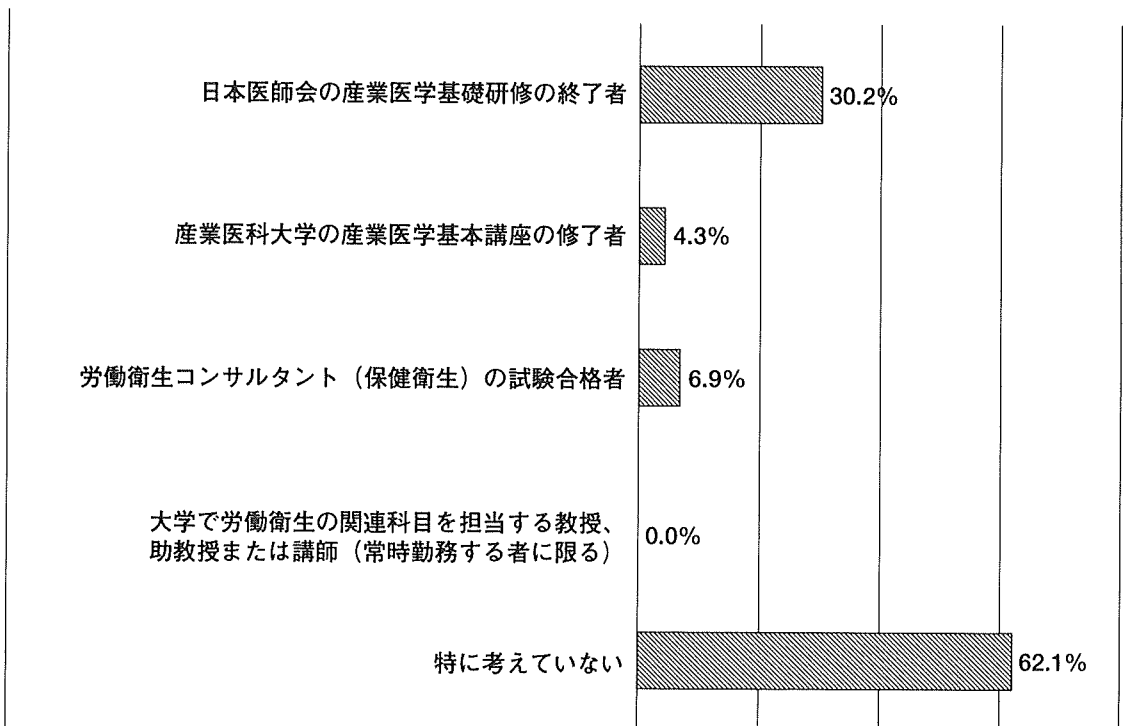
問20 医師会への所属は？



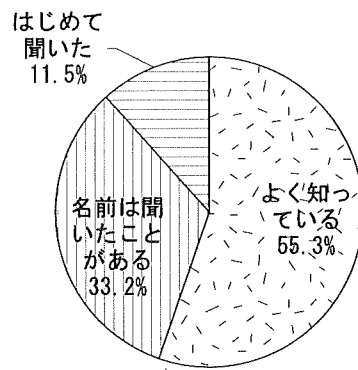
問21 平成10年10月改正労働安全衛生法



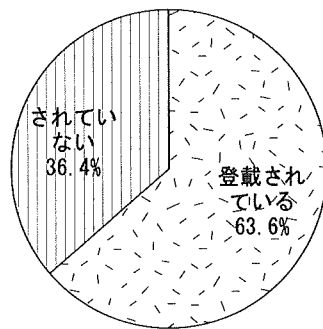
問21 平成10年10月改正労働安全衛生法 ア



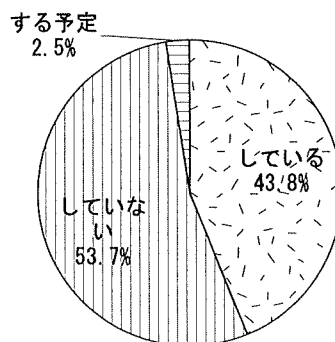
問22 地域産業保健センターを知っているか？



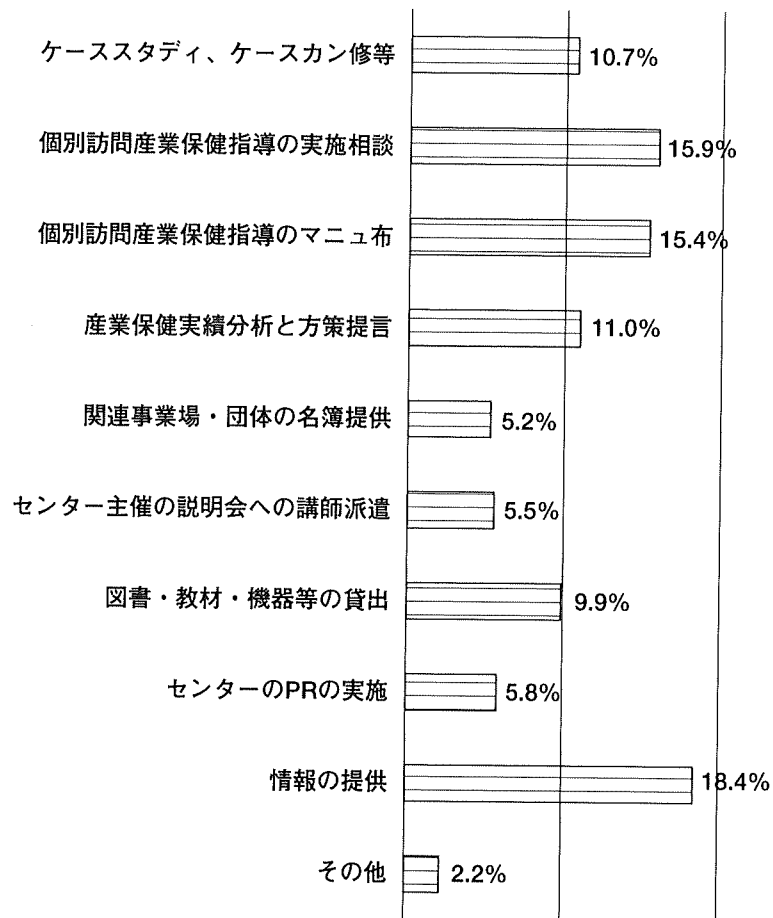
問23 地域産業保健センターの登録は？



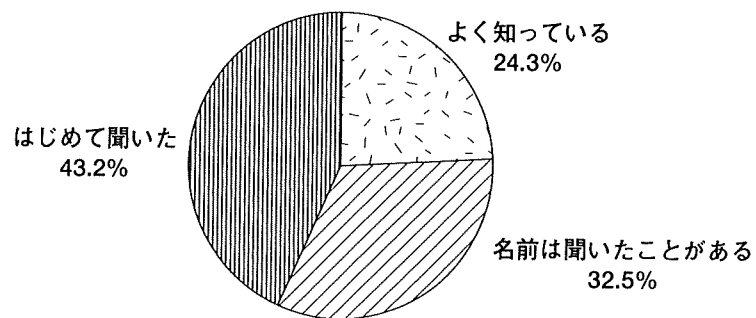
問24 地域産業保健センターでの活動は？



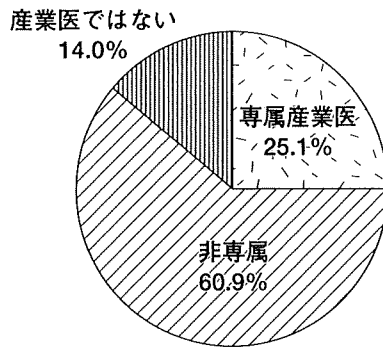
問24ア 地域産業保健センターで利用したいサービスは？



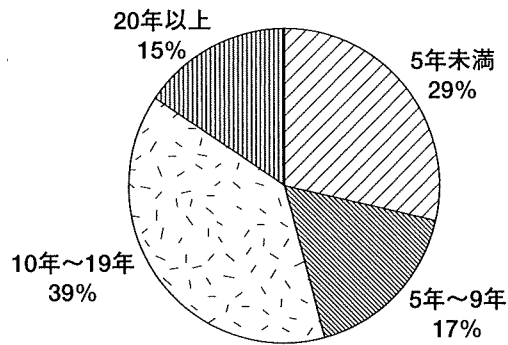
問25 小規模事業場産業保健活動支援促進事業について



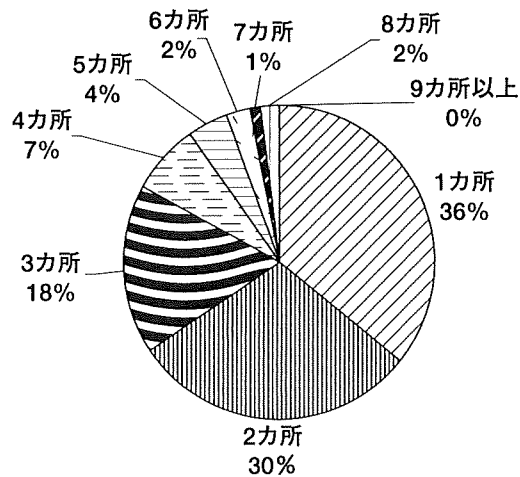
問26 勤務形態は？



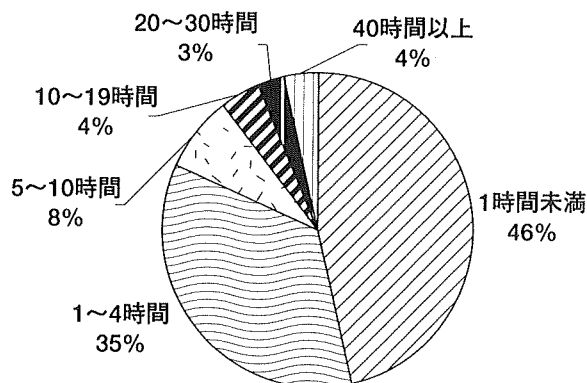
問27 産業医としての経験年数



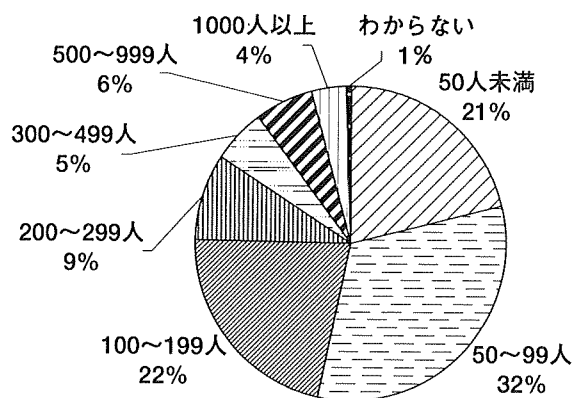
問28 選任事業所数



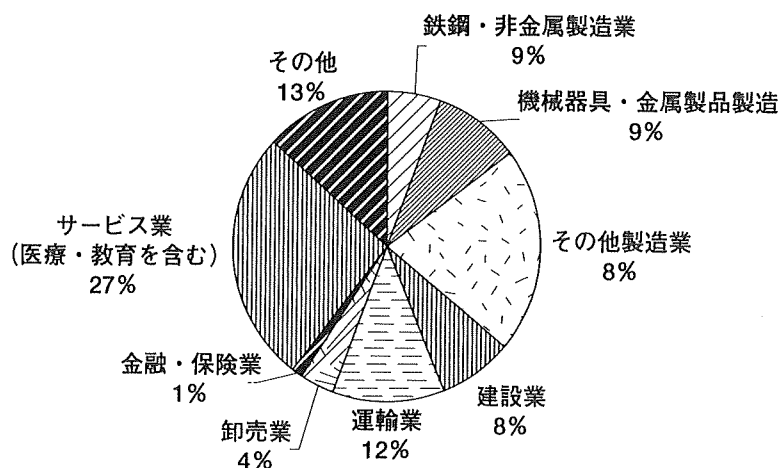
問29 産業医としての一ヶ月の平均労働時間



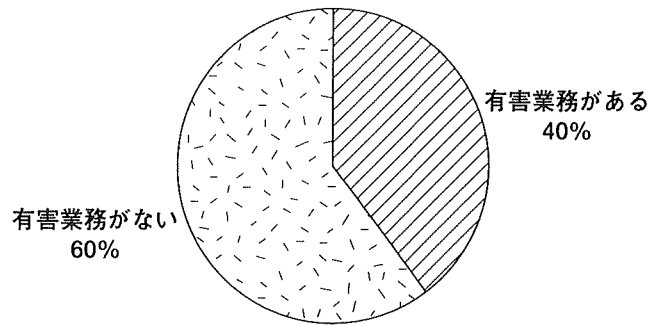
問30 事業場の従業員数



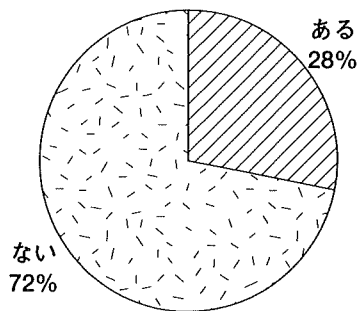
問31 事業場の業種



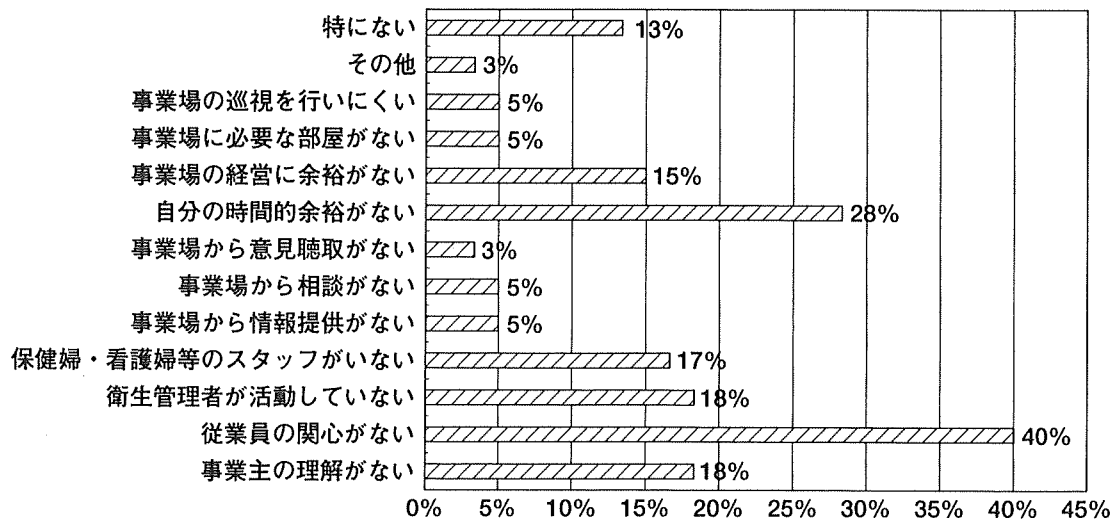
問32 有害業務の有無



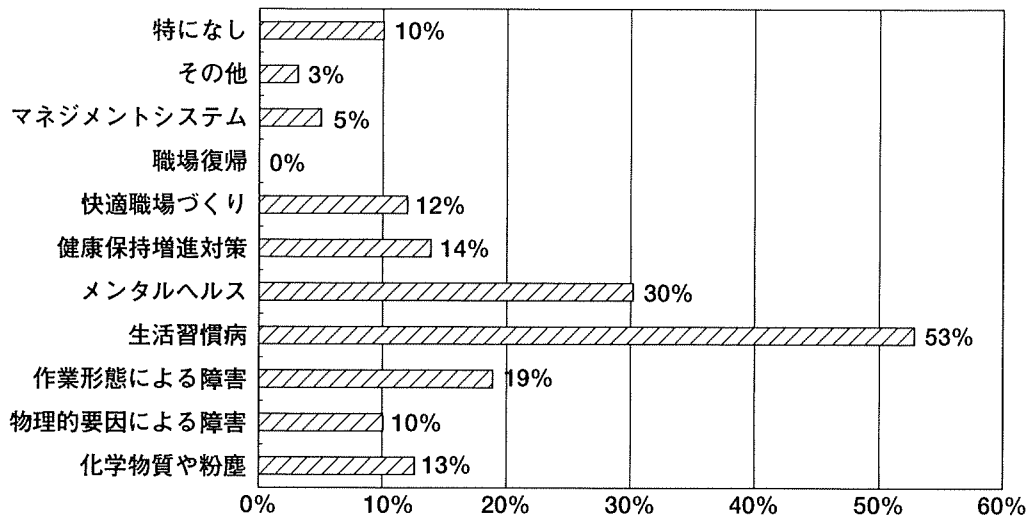
問33 現在産業保健活動上で困っていること



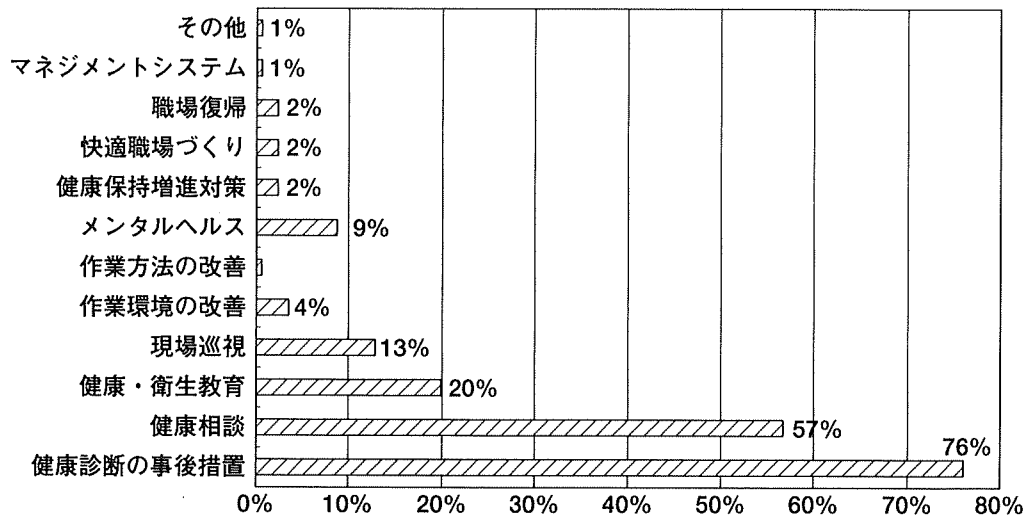
問33-ア 困っていることの内訳



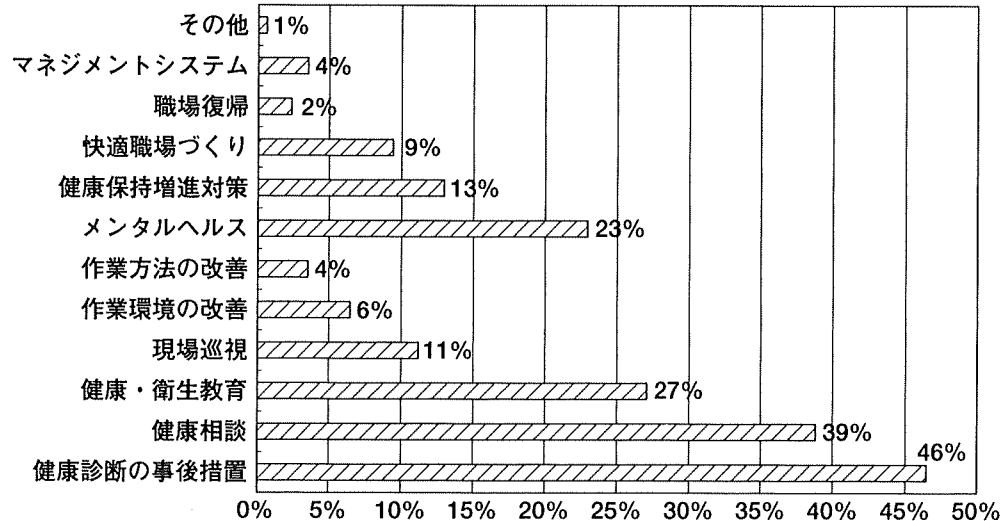
問34 産業保健上の課題



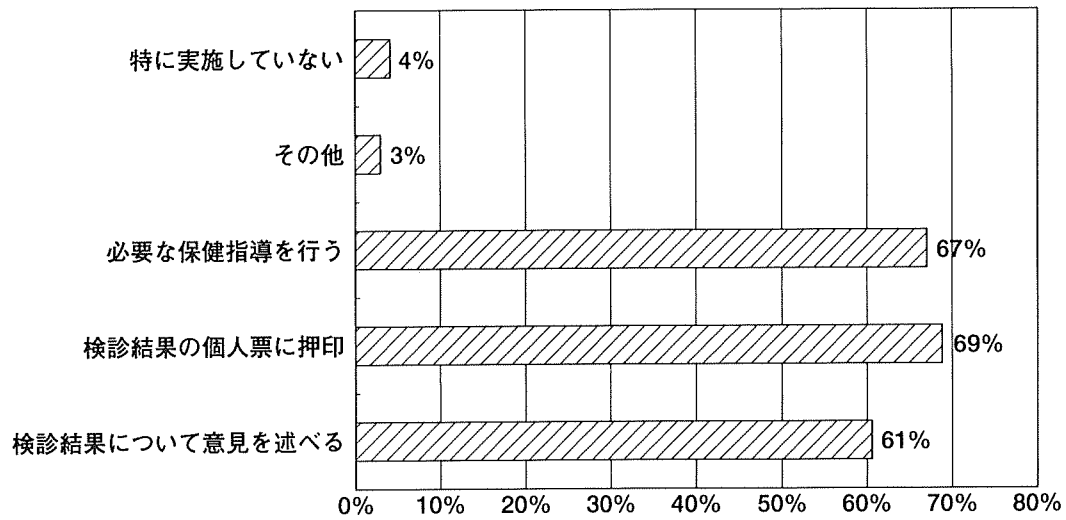
問35 現在重点的に実施している業務内容



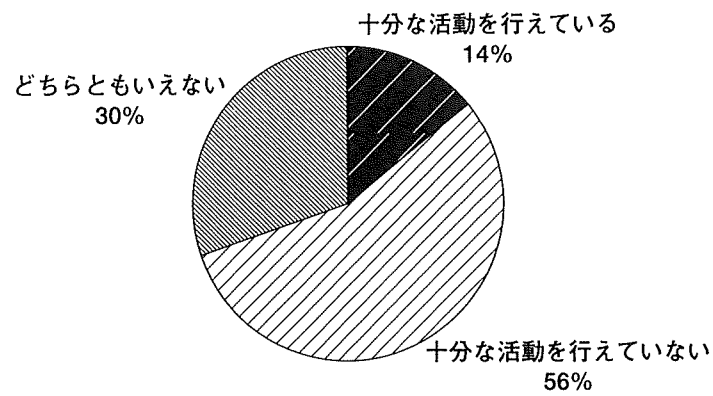
問36 今後重点的に実施したい業務内容



問37 健康診断の事後措置として実施していること

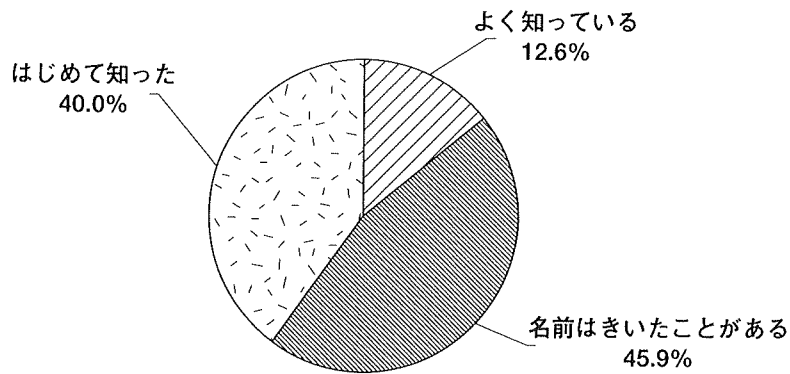


問38 現在の産業保健活動についての考え

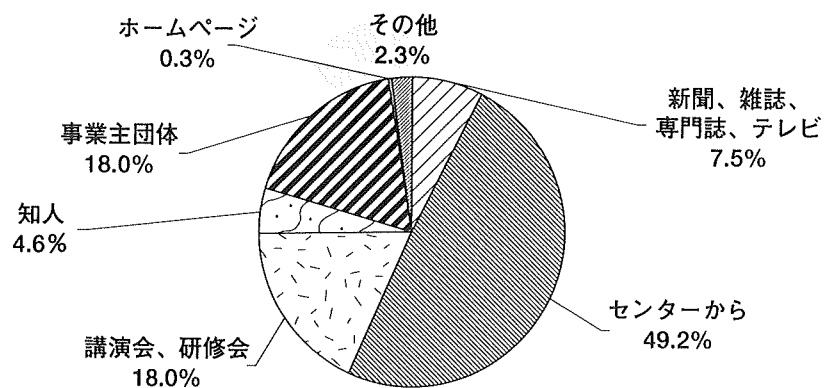


B. 事業所対象調査

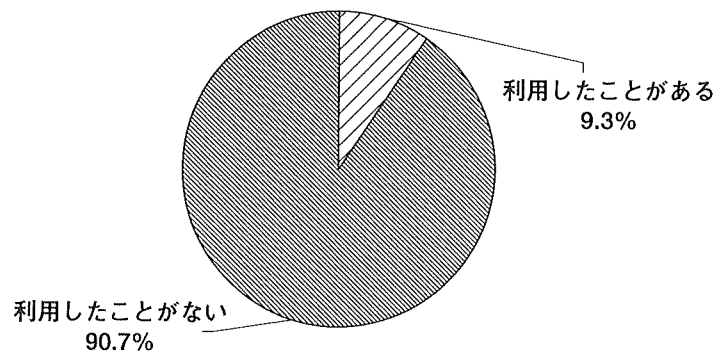
問1 産業保健推進センターの認知



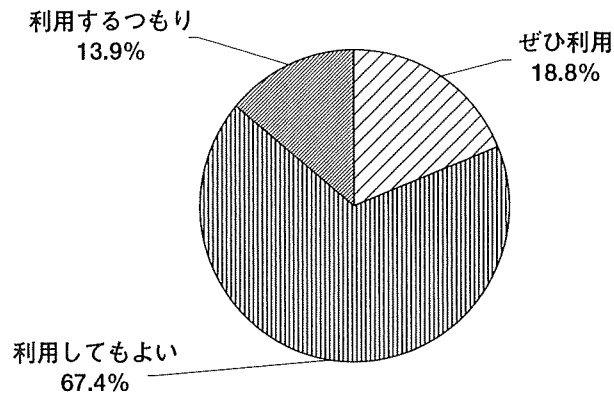
問1ア どのようにして知ったか



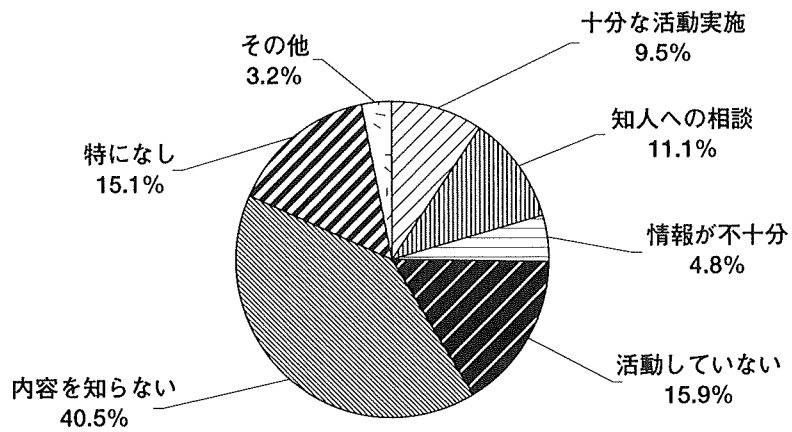
問1イ センターの利用



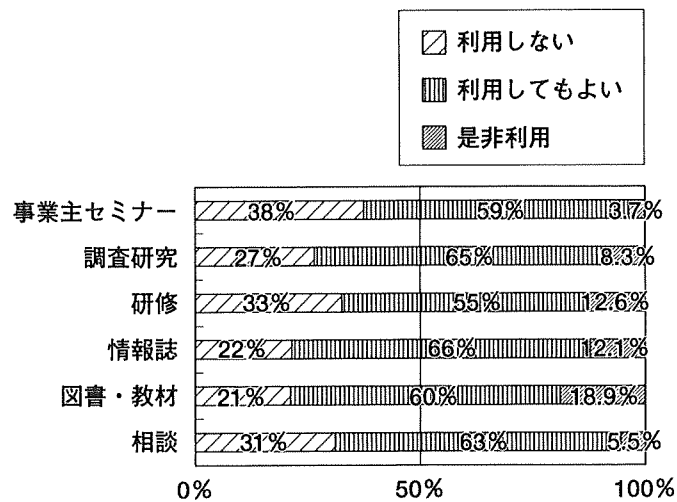
問2 センターの支援サービスを利用希望



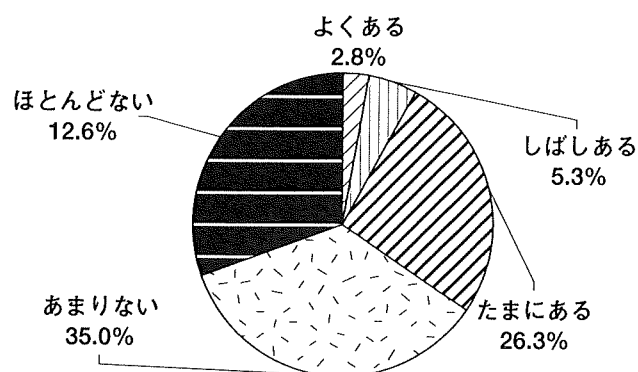
問2ア 支援サービスを利用しない理由



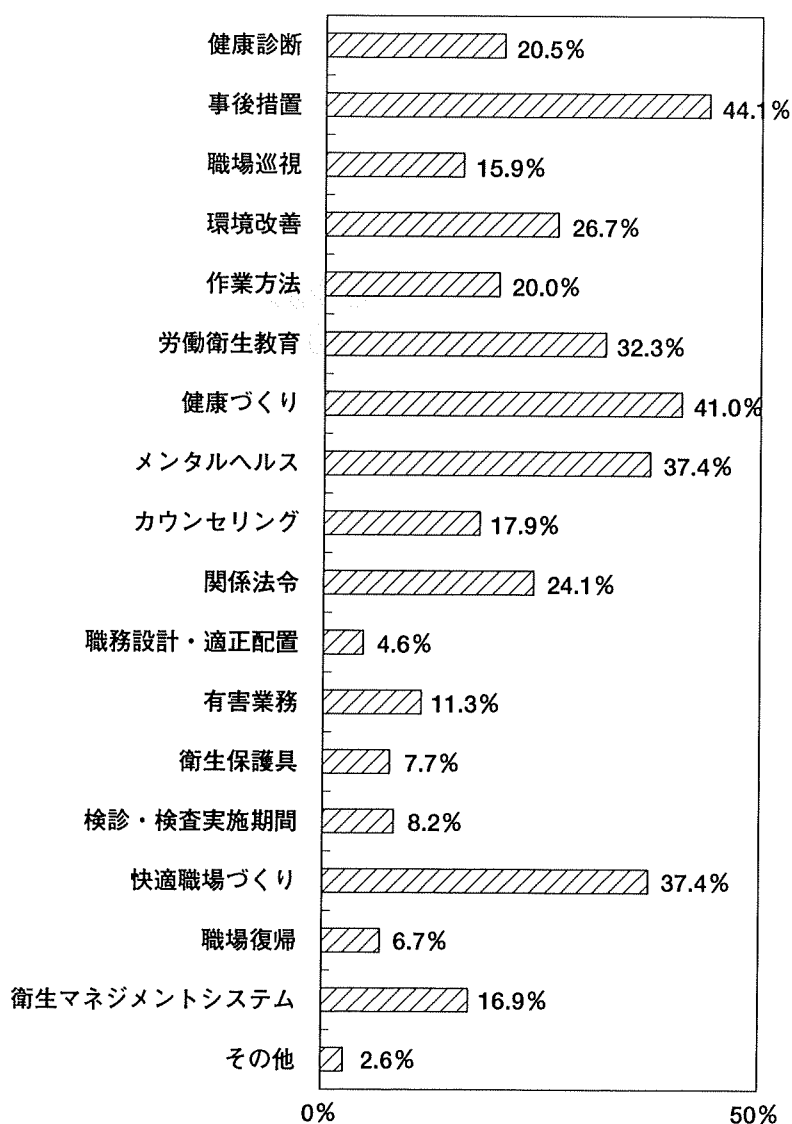
問3 サービス利用意向



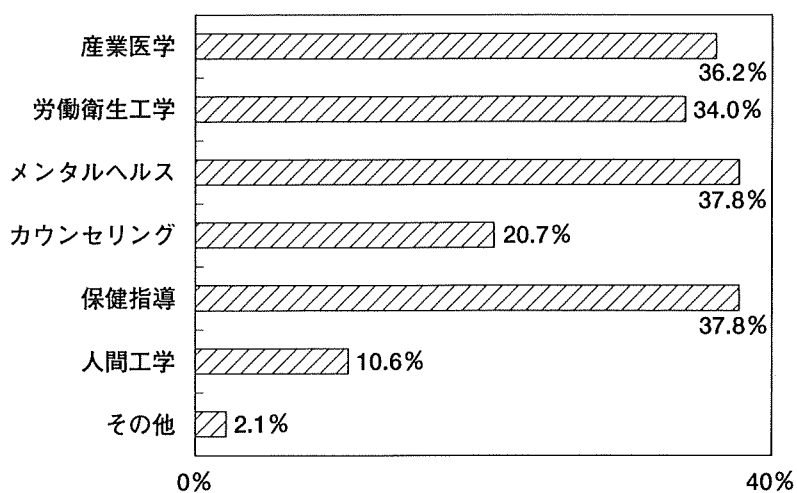
問4 専門家への相談希望



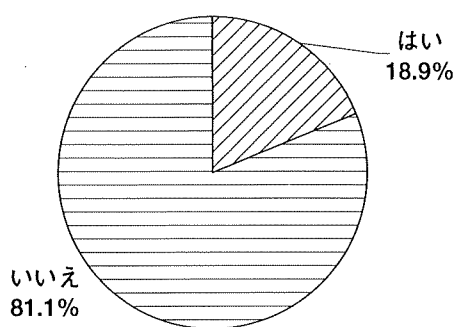
問4ア 相談希望内容



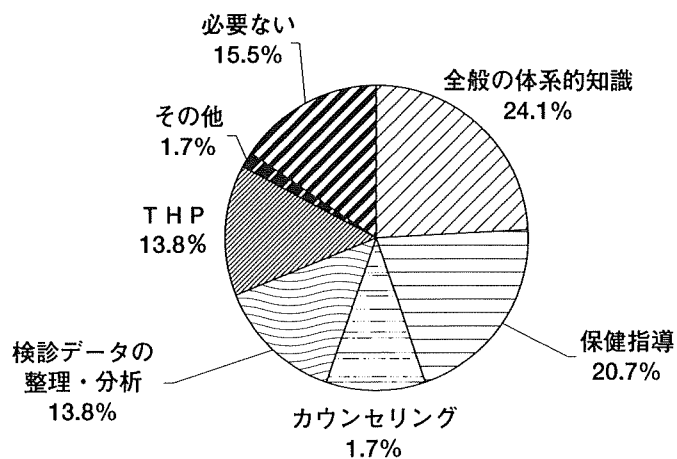
問 4 イ 相談希望専門家



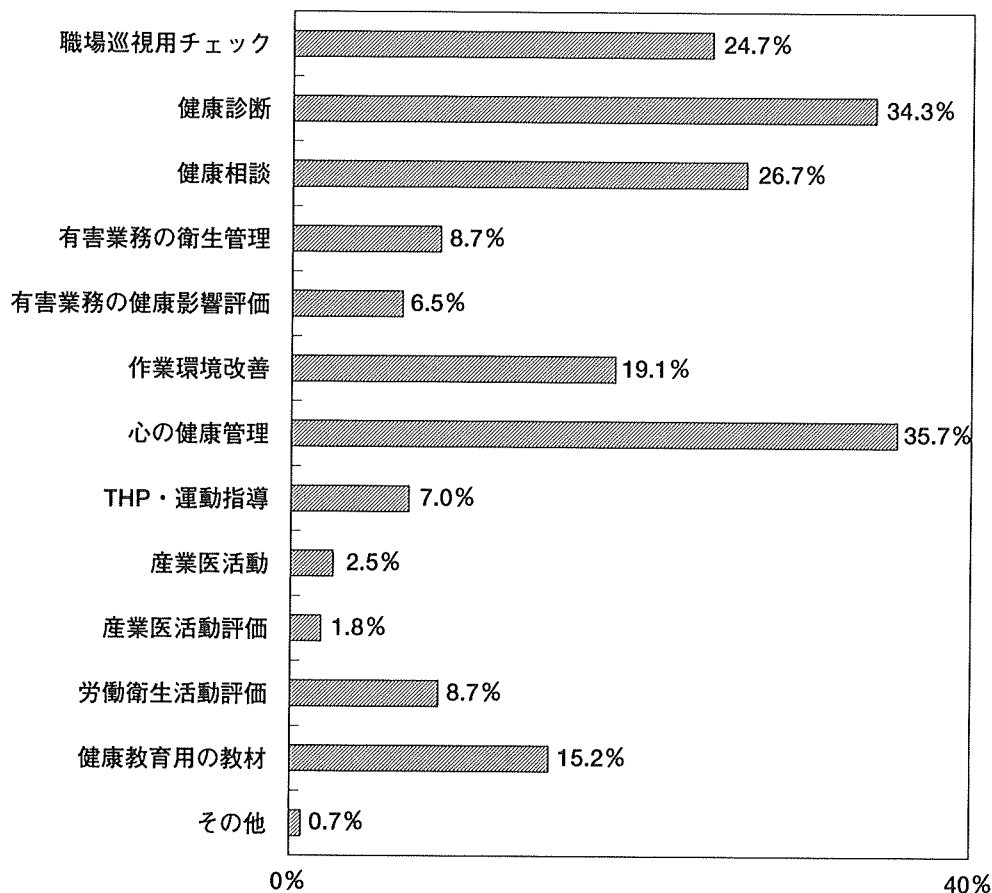
問 5 保健婦・看護婦の有無



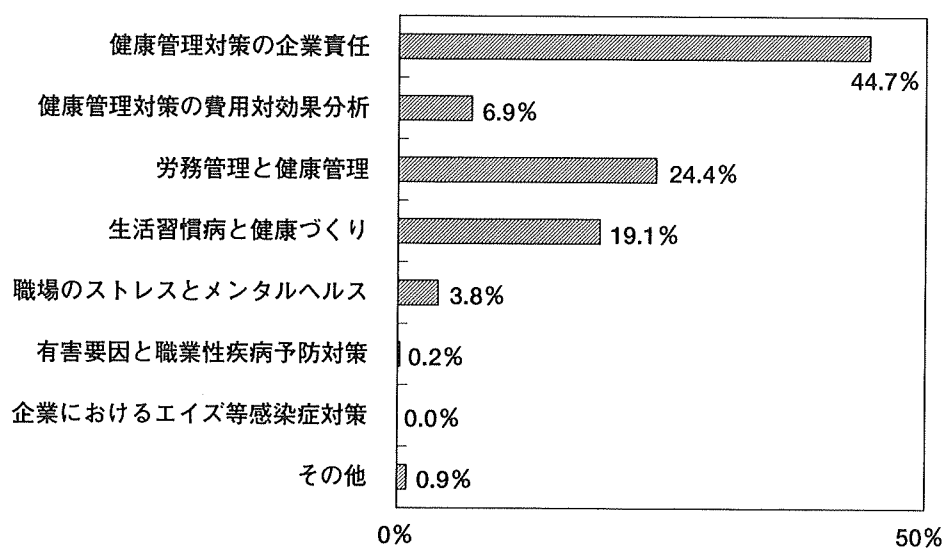
問 5 ア 保健婦、看護婦の研修内容



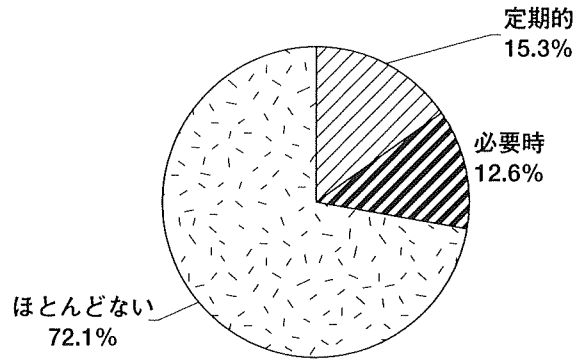
問6 センターの調査研究活用希望



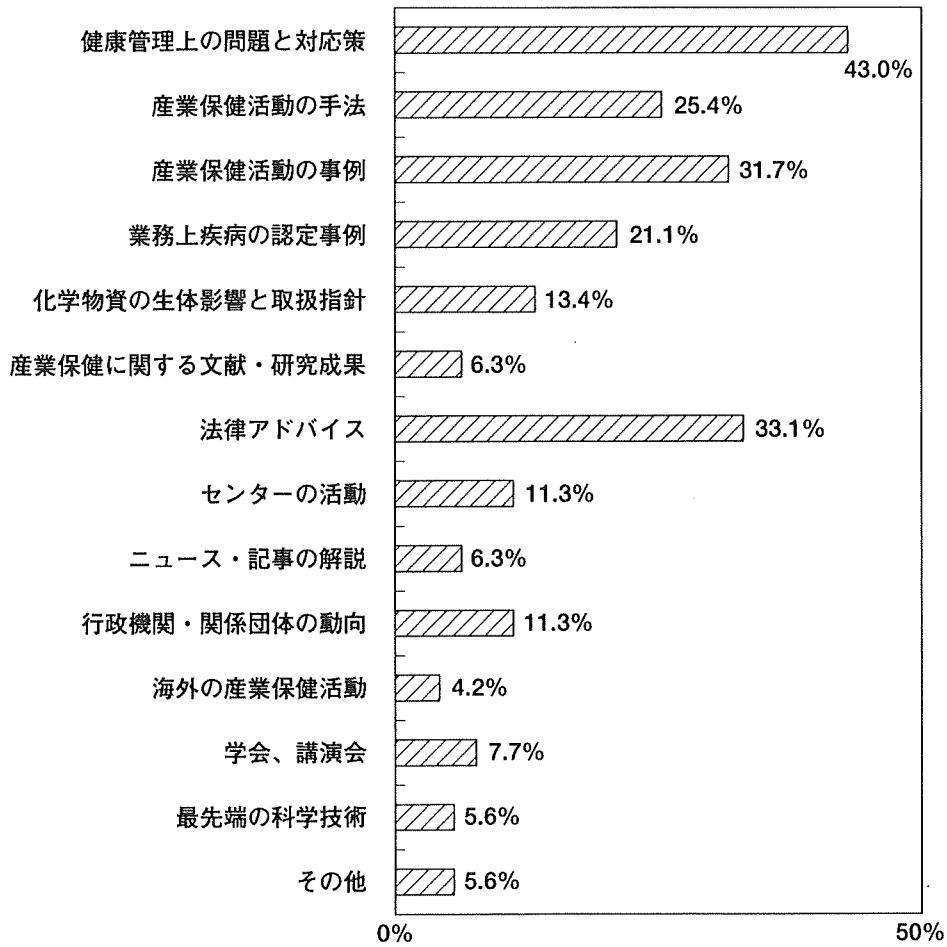
問7 事業主セミナーの演題希望



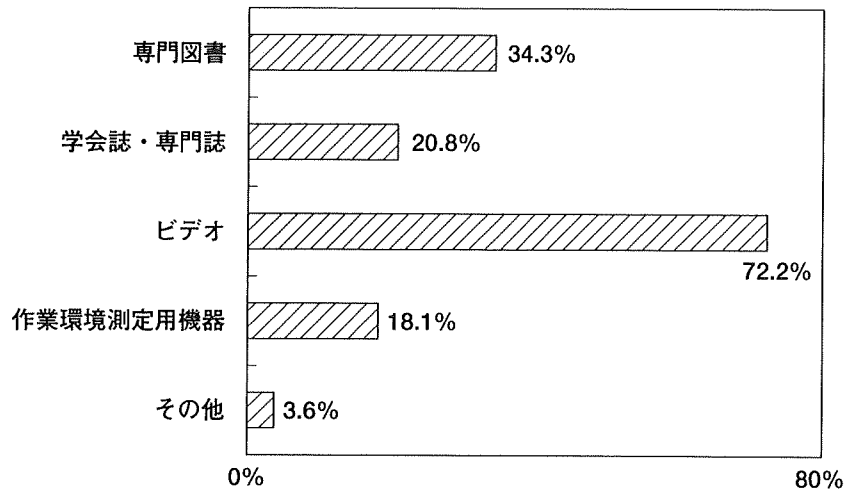
問 8 定期刊行物の購読



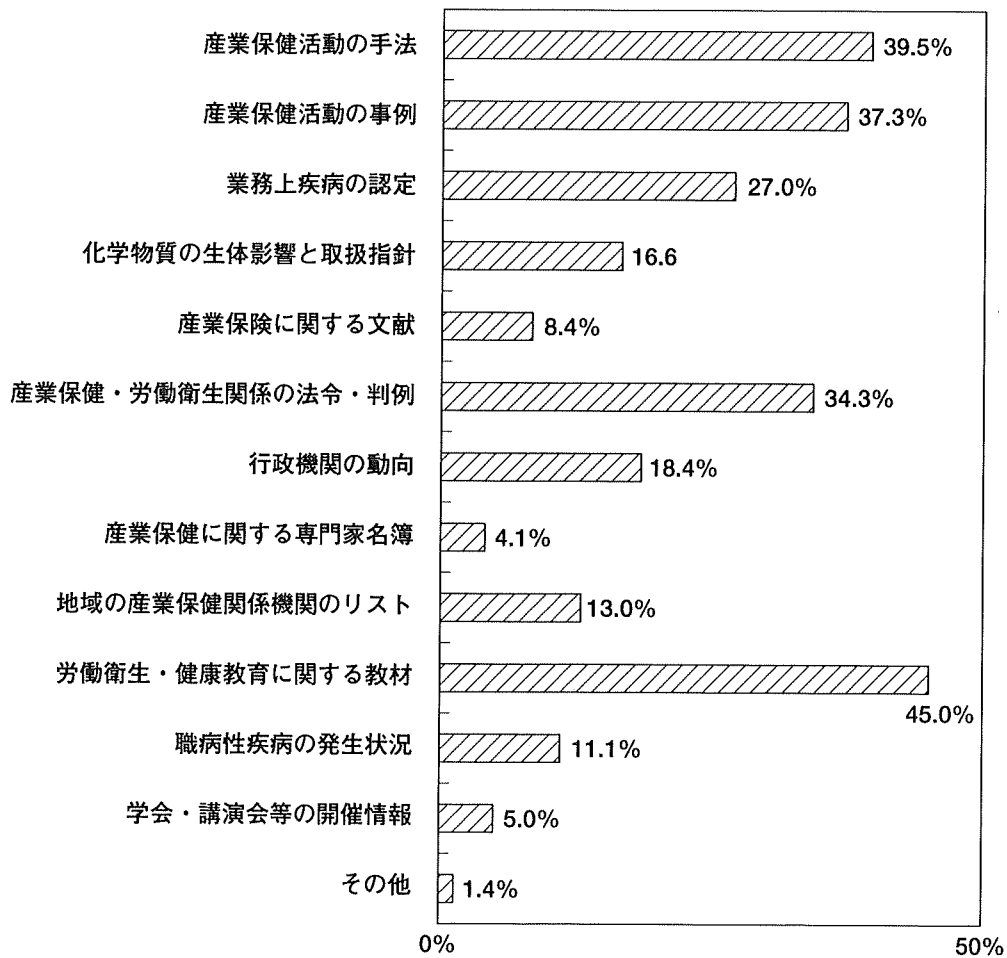
問 8 ア 専門誌、情報誌で不足の内容



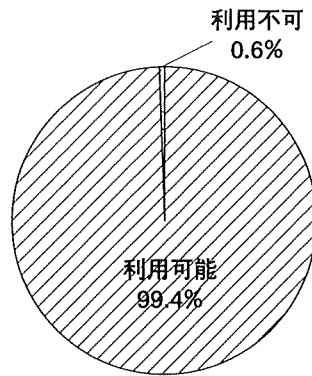
問9 図書、教材の閲覧貸出希望



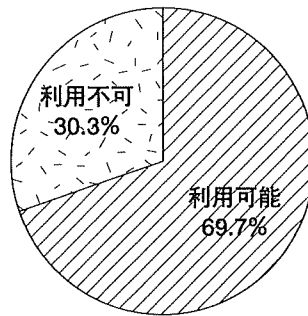
問10 情報のデータベース化の要望



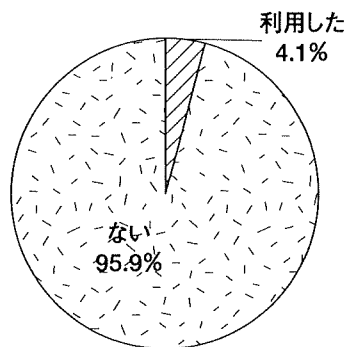
問11① FAXの利用



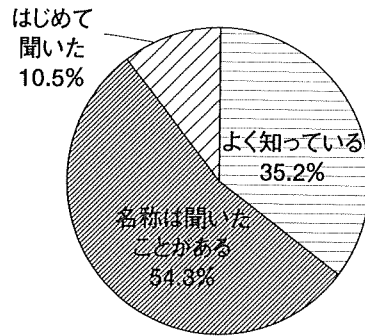
問11② インターネットの利用



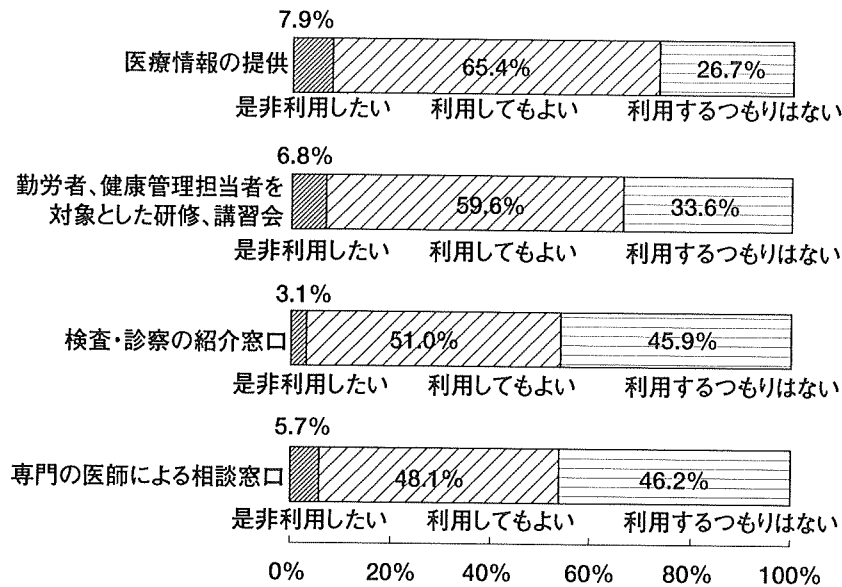
問11ア 産業保健推進センターホームページの利用



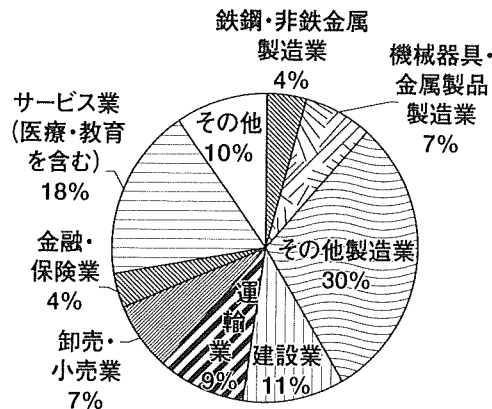
問13 山口労災病院を知っているか？



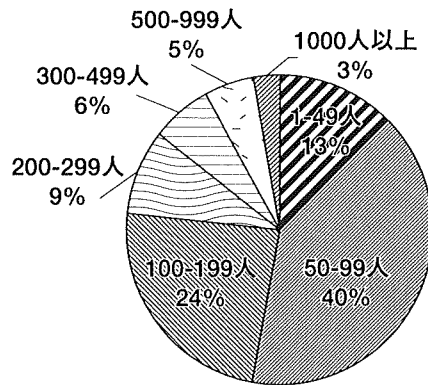
問14 労災病院の専門センターの利用について



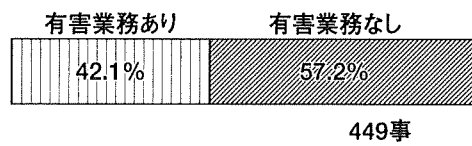
問16 事業所の業種



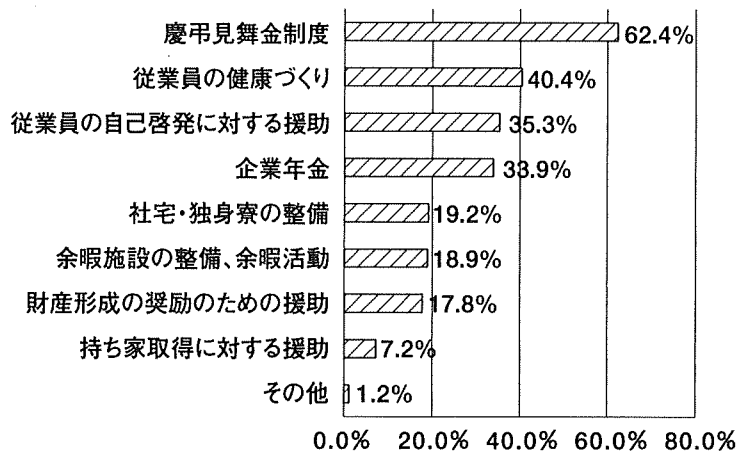
問17 事業場の常用労働者数（派遣社員除く）



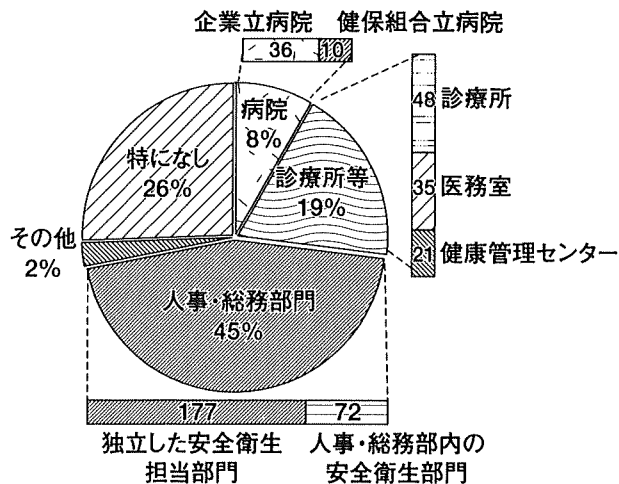
問18 事業場における有害業務



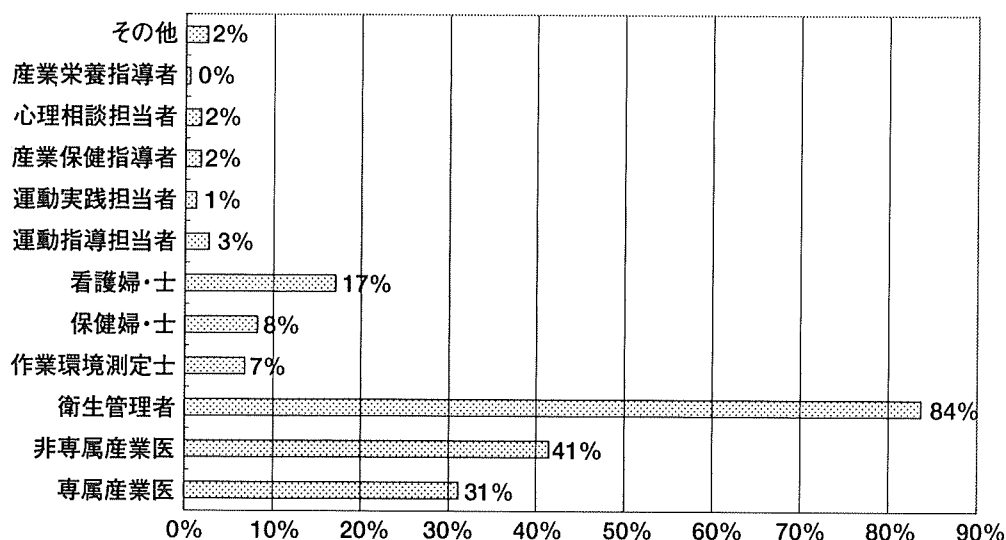
問19 重点的に実施している福祉厚生施策は？



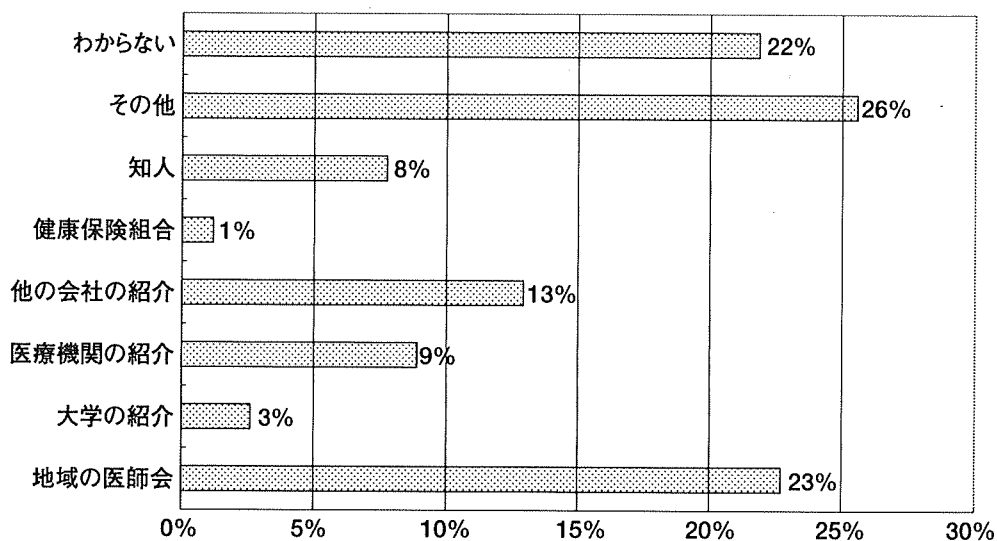
問20 事業場における労働衛生管理部門



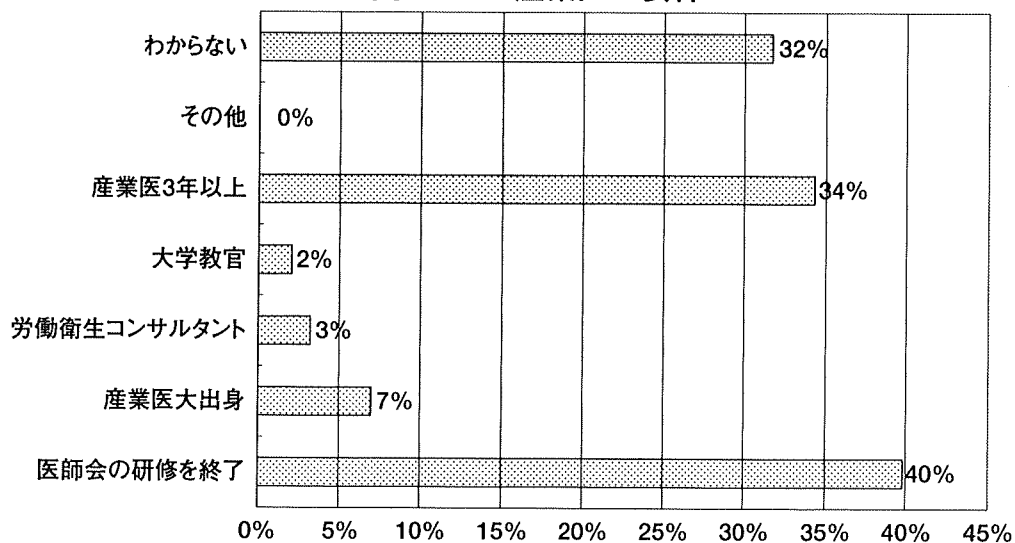
問21 労働衛生担当スタッフの職種



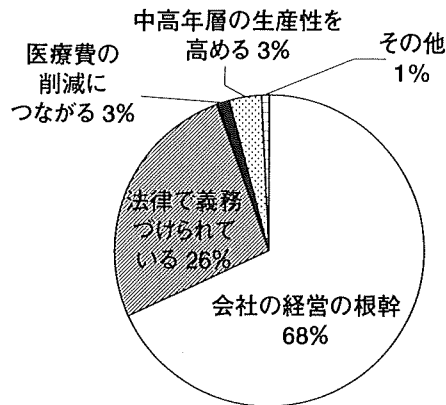
問21-ア 産業医の採用経路



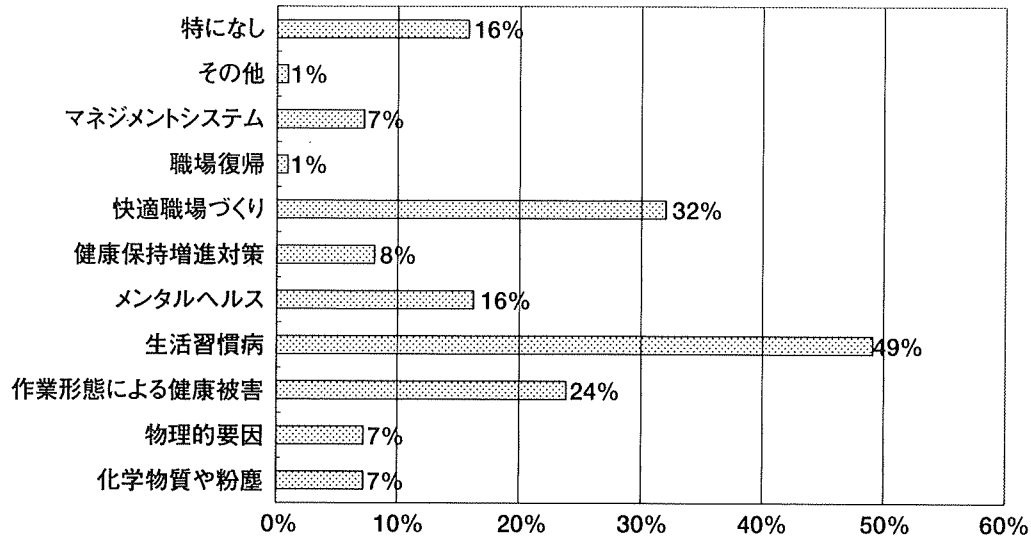
問21-イ 産業医の要件



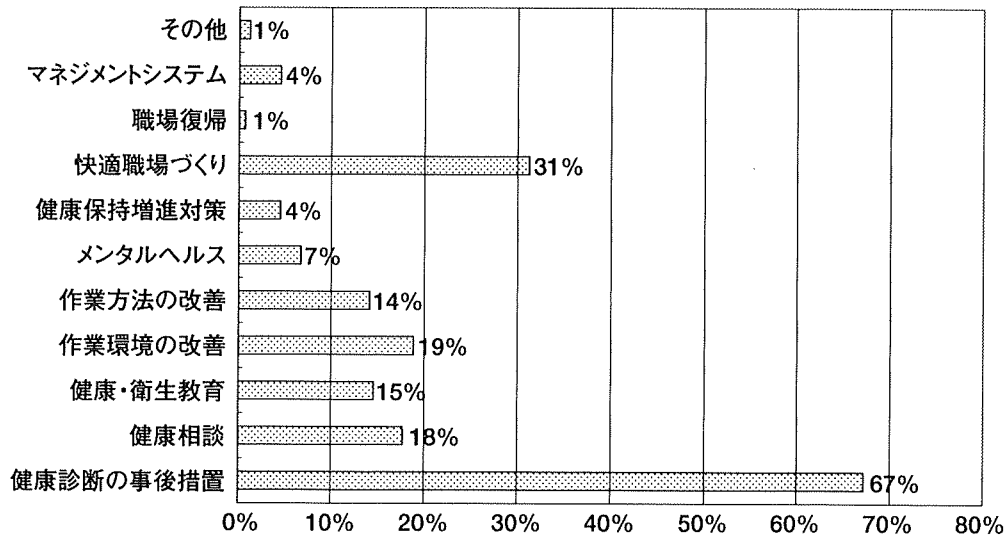
問22 健康管理に対する考え方



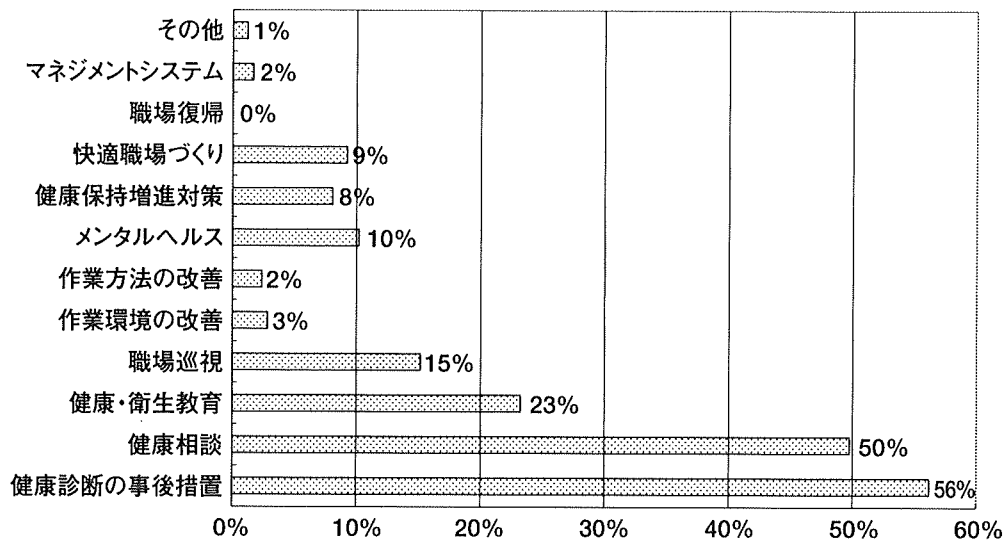
問23 労働衛生上の問題点



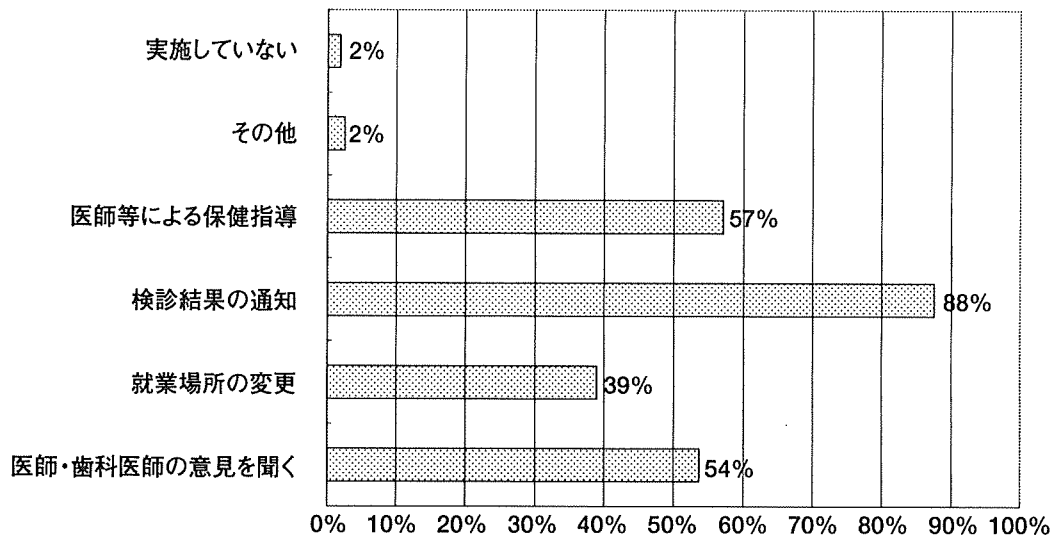
問24 重点的に実施している業務



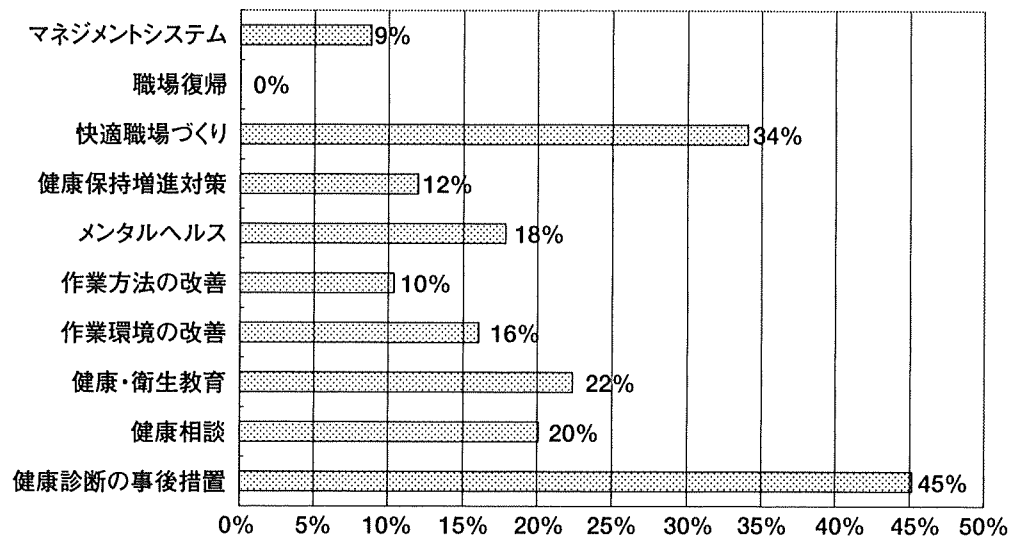
問25 重点的に実施してほしい項目



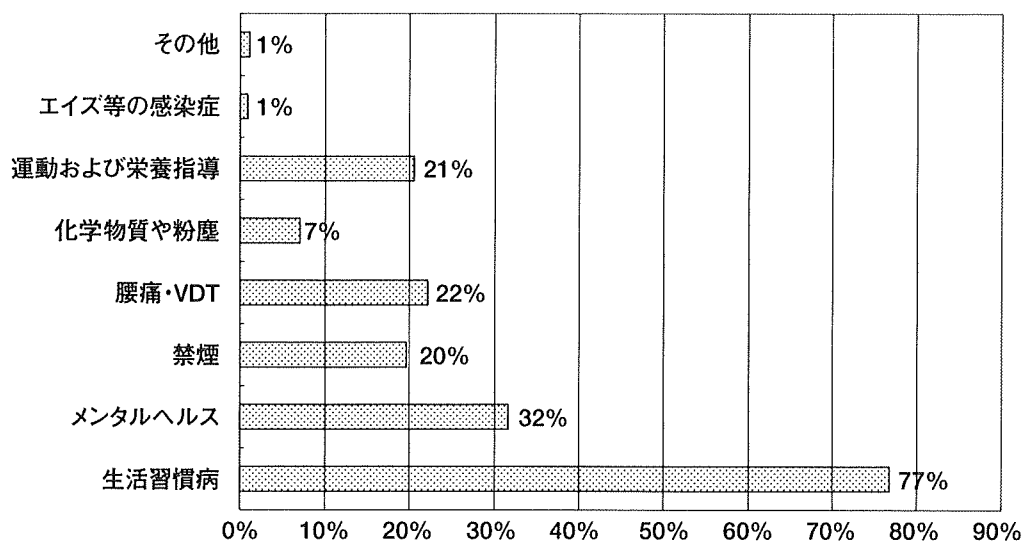
問26 健康診断の事後措置



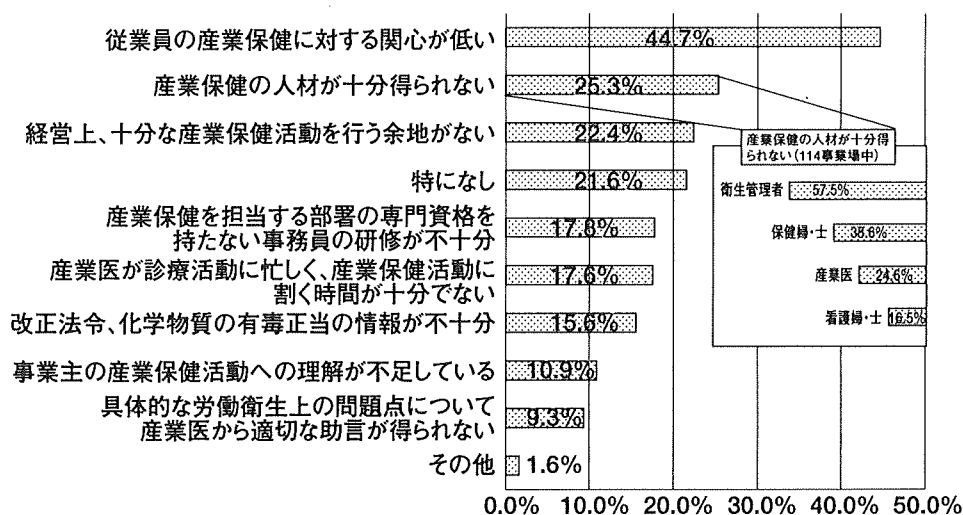
問27 今後重点的に実施したい項目



問28 今後力を入れてほしい健康教育



問29 産業保健を実施する上での問題点は何か？



産業保健実態調査票

本調査は、県内の産業医の先生方を対象に、産業保健活動の実態や産業保健活動に関するご意見・ご要望等をうかがうことにより、今後の山口産業保健推進センターのあり方を検討するための基礎資料とすることを目的としております。

なお、お答えいただきました結果については、統計的に処理しますので、個人の回答がそのまま公表されることはありません。

記入上の注意

1. この調査票の回答は、産業医の先生ご本人にお願いいたします。
2. 30分程度で記入できる調査内容となっています。
3. 調査票は、平成13年2月現在で記入してください。
4. 番号や記号のあるものは、そのいずれかに○印をつけてください。
5. 「その他（）」に該当する場合には、（）内に具体的に記入してください。
6. 青又は黒のペン又はボールペンで記入してください。
7. 調査票は、同封の返信用封筒を使用して、平成13年3月20日までにご返送してください。
8. 調査内容について不明な点がありましたら下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

労働福祉事業団山口産業保健推進センター

〒753-0051 山口市旭通り二丁目9-19

TEL 083-933-0105

FAX 083-933-0106

Ⅰ 産業保健活動の支援サービスについておたずねします

労働福祉事業団では、産業保健活動を支援し、その活性化を推進する拠点として、平成5年度から都道府県ごとに順次「産業保健推進センター」を設置し、産業医等の産業保健関係者を対象に専門的相談、研修、図書・教材の貸出し等の各支援サービスを提供しております。

産業保健推進センター全般について

問1 先生は産業保健推進センターをご存知ですか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. よく知っている
2. 名前は聞いたことがある
3. はじめて知った

[問1で1. 2. に○印をつけた方にお伺いします]

ア. 先生はどのようにして産業保健推進センターを知りましたか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 新聞、雑誌、専門誌、テレビなどを通じて知った
2. 産業保健推進センターより直接送られてきたパンフレットやリーフレットを見て知った
3. 学会、講演会、研修会などを通じて知った
4. 医師会を通じて知った
5. 知人から聞いて知った
6. 産業保健推進センターのホームページを見て知った
7. その他()

イ. 先生は産業保健推進センターを利用したことがありましたか。

- あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。
1. 利用したことがある
 2. 利用したことがない

問2 先生は産業保健推進センターが提供する支援サービスを利用したいと思いますか。また、利用されたことがある方は、再度利用したいと思いますか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 是非(また利用したい)
2. (また)利用してもよい
3. (また)利用するつもり

[問2で3. に○印をつけた方におうかがいします]

ア. それをなぜですか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 現在十分な活動を実施できているため
2. 産業保健推進センターを利用しなくても知人等に相談できるため
3. 産業保健推進センターの提供する情報が十分でないと思われるため
4. 産業保健推進センターを利用するほどの活動ができていないため
5. 産業保健推進センターのサービス内容をよく知らないため
6. 特になし
7. その他()

問3 産業保健推進センターでは、以下の支援サービスを実施しています。それぞれのサービスについてあてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

(各サービスについては同封の産業保健推進センターパンフレットを御参照ください)

① 窓口相談・実地相談を利用したいと思いますか。

1. 是非利用したい
2. 利用してもよい
3. 利用するつもりはない

② 図書・教材等の閲覧・貸出を利用したいと思いますか。

1. 是非利用したい
2. 利用してもよい
3. 利用するつもりはない

8. その他 ()
課題の具体的内容

問6 ケーススタディやケースカンファレンスに参加するとした場合に、ご都合のつきやすい日時はいつですか。あてはまるものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 平日昼間 2. 平日夕方 3. 土曜日 4. 日曜・祝日
5. その他 ()

問7 ケーススタディ研修を実施する方法として、どのような方法が良いと思われますか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 講義・講演方式 2. グループ討議・会議方式
3. 現場実習・実技 4. ロール・プレイング方式*
5. その他 ()

* たとえば、産業医と事業主という役柄を決め、その役柄を演じることで、相手の立場になって考える方法

県医師会等の主催する産業医研修への支援について

問8 県医師会等の主催する産業医研修において、産業保健推進センターにどのような支援を期待しますか。主要なもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 講師の派遣・紹介
2. 教育器材の貸出
3. 実地研修受入れ事業場の紹介
4. その他 ()

[問8で1. に○印をつけた方におうかがいします]

ア. どのような内容の講義ができる講師の派遣や紹介が望ましいですか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 労働衛生行政・労働衛生法規 2. 健康診断の事後指導
3. 生活習慣病(成人病)予防 4. 中高年労働者の健康管理
5. メンタルヘルス 6. 健康保持増進対策(THP)
7. 作業環境管理 8. 作業管理
9. 職種・業態別の産業保健 10. 職場復帰
11. その他 ()

調査研究の成果の活用について

問9 産業保健推進センターでは今後、産業保健活動に役立つ調査研究を実施し、調査研究の成果を活用していく予定ですが、どのようなものを利用したいですか。主要なもの2つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 職場巡視用チェックリスト 2. 健康診断マニュアル
3. 健康相談マニュアル 4. 有害業務の衛生管理マニュアル
5. 有害業務の健康影響評価マニュアル 6. 作業環境改善マニュアル

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 7. 心の健康管理マニュアル | 8. T H P ・運動指導マニュアル |
| 9. 産業医活動マニュアル | 10. 産業医活動評価マニュアル |
| 11. 労働衛生活動評価マニュアル | 12. 健康教育用の教材 |
| 13. その他 () | |

図書・教材の閲覧・貸出し等による産業保健に関する情報収集について

問10 先生は現在、産業保健に関する定期刊行物を購読していますか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 定期的に購読している
2. 必要なときに購読している
3. ほとんど購読していない

[問10で1. 2. に○印をつけた方におうかがいします]

ア. それらの専門誌や情報誌の内容として不足していると思われるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 最近の健康管理上の問題と対応策
2. 産業保健活動の手法・ノウハウの解説
3. 産業保健活動の事例紹介
4. 業務上疾病の認定事例の解説
5. 化学物質の生体影響と取扱い指針の解説
6. 産業保健に関する文献・研究成果の解説
7. 産業保健活動に関する法律アドバイス
8. 産業保健推進センター・地域産業保健センターの活動紹介
9. 産業保健に関するニュース・記事の解説
10. 行政機関・関係団体の動向の解説
11. 海外の産業保健活動の動向の解説
12. 学会、講演会等の開催情報
13. 産業保健に関する最先端の科学技術の紹介
14. その他 ()

問11 どのような図書・教材の閲覧・貸出等を希望しますか。あてはまるものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------|--------|
| 1. 専門図書 | 2. 学会誌・専門誌 | 3. ビデオ |
| 4. 作業環境測定用機器 | 5. その他 () | |

産業保健推進センターで整備している産業保健情報システムについて

産業保健推進センターでは、産業保健情報をデータベース化し、利用者がインターネット等を用いて必要な情報について紹介できる産業保健情報システムの整備を図ることとしております。

問12 今後、産業保健活動を展開する上で、どのような分野・内容の情報をデータベースとして整備すべきだとお考えですか。あてはまるもの3つまで選び番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 産業保健活動の手法 | 2. 産業保健活動の事例 |
| 3. 業務上疾病の認定に関する事例 | 4. 化学物質の生体影響と取扱い指針 |
| 5. 産業保健に関する文献 | 6. 産業保健・労働衛生関係の法令・判例 |
| 7. 行政機関の動向 | 8. 産業保健に関する専門家名簿 |
| 9. 地域の産業保健関係機関リスト | 10. 労働衛生・健康教育に関する教材 |
| 11. 職業性疾病の発生状況 | 12. 学会・講演会等の開催情報 |
| 13. その他 () | |

問13 先生のところでは、FAXやインターネットが利用できますか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| ① FAX | 1. 利用できる | 2. 利用できない |
| ② インターネット | 1. 利用できる | 2. 利用できない |

[問13で②の1. に○印をつけた方におうかがいします]

ア. 産業保健推進センターでは、インターネット上でホームページを公開しています。産業保健推進センターのホームページをご利用になったことがありますか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことはない |
|--------------|--------------|

[山口産業保健推進センターのホームページアドレスは、<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~sanpo35/>です。]

今後の産業保健推進センターのサービスについて

問14 産業保健推進センターでは、今後どのような産業保健活動を支援するサービスを実施したらよいとお考えですか。ご自由に記入してください。

II 労災病院についておたずねします

問15 山口労災病院をご存知ですか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. よく知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. はじめて聞いた

問16 労災病院では疾病の予防活動に寄与するため、産業保健科や次ページの表に示す専門センターを設置し、産業医の方に対して以下の事項を行うこととしています。労災病院で実施している以下の①～④の実施事項について、あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

① 専門の医師による相談窓口

1. 是非利用したい 相談したい内容
2. 利用してもよい [1.2. に○印をつけた方のみご記入ください]
3. 利用するつもりはない

② 検査・診察の紹介窓口

1. 是非利用したい 2. 利用してもよい 3. 利用するつもりはない

③ 職業性疾病の臨床事例の情報提供

1. 是非利用したい 利用したい内容
2. 利用してもよい [1.2. に○印をつけた方のみご記入ください]
3. 利用するつもりはない

④ 症例検討会の開催

1. 是非参加したい 参加したい内容
2. 参加してもよい [1.2. に○印をつけた方のみご記入ください]
3. 参加するつもりはない

問17 前項のほか、先生が産業医活動を行うにあたって、労災病院に望むことがあればご記入ください。

Ⅲ 産業医の先生ご自身についておうかがいします

先生ご自身のことについて

問18 年齢（あてはまるものの番号に○印をつけてください）

1. 40歳未満 2. 40歳代 3. 50歳代 4. 60歳以上

問19 性別（あてはまるものの番号に○印をつけてください）

1. 男性 2. 女性

問20 医師会に所属なさっていますか。（あてはまるものの番号に○印をつけてください）

1. 所属している 2. 所属していない

産業医の要件について

問21 平成10年10月から産業医の要件に関する改正労働安全衛生法が施行されました。現在、先生が備えていらっしゃる要件は、以下のうちどれですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 日本医師会の産業医学基礎研修の修了者
2. 産業医科大学の産業医学基本講座の修了者
3. 労働衛生コンサルタント（保健衛生）の試験合格者
4. 大学で労働衛生の関連科目を担当する教授、助教授又は講師（常時勤務するものに限る）の職にある者、又はあった者
5. 平成10年9月30日において、産業医の経験年数が3年以上となる者
6. 1～5の要件は備えていない

[問21で5. 6. に○印をつけた方におうかがいします]

ア. 今後、どのような要件を備えることをお考えですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 日本医師会の産業医学基礎研修の修了者
2. 産業医科大学の産業医学基本講座の修了者
3. 労働衛生コンサルタント（保健衛生）の試験合格者
4. 大学で労働衛生の関連科目を担当する教授、助教授又は講師（常時勤務するものに限る）の職にある者、又はあった者
5. 特に考えていない

地域産業保健センターについて

問22 先生は地域産業保健センターをご存知ですか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。（地域産業保健センターは、厚生労働省が郡市医師会に委託している事業で、労働者数が50人未満の事業場の事業主や労働者に対して、健康相談などの産業保健サービスを行うものです。）

1. よく知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. はじめて知った

問23 先生は地域産業保健センターの名簿に登載（登録）されていますか。

1. 登載（登録）されている 2. 登載（登録）されていない

IV. 先生の現在の産業保健活動の実施状況及び事業場における産業保健上の課題についておうかがいします

産業保健活動の実施状況について

問27 産業医としての経験年数（あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。）

1. 5年未満 2. 5年～9年 3. 10年～19年 4. 20年以上

問28 先生は、いくつの事業場から産業医として選任なれていますか。平成13年1月時点での事業場数を記入してください。

（ ）事業場数

問29 先生が産業保健活動に費やされる時間は一事業場あたり毎月平均何時間位ですか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 1時間未満 2. 1～4時間 3. 5～10時間
4. 10～19時間 5. 20～39時間 6. 40時間以上

産業医を引き受けている事業場について

複数の事業場から産業医として選任されている場合は、先生が特に熱心に取り組んでおられる事業場にうち1つを選びお答えください。

問30 その事業場の従業員についておうかがいします。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 50人未満 2. 50～99人 3. 100～199人 4. 200～299人
5. 300～499人 6. 500～999人 7. 1000人以上 8. わからない

問31 その業種は何ですか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 鉄鋼・非鉄金属製造業 2. 機械器具・金属製品製造業
3. その他製造業 4. 建設業
5. 運輸業 6. 卸売業・小売業
7. 金融・保険業 8. サービス業（医療・教育を含む）
9. その他（ ）

問32 その事業場には、有害業務がありますか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

（ここでいう有害業務とは、労働安全衛生法施行令第22条に規定されている高気圧作業、潜水作業、放射線、特定化学物質、鉛、四アルキル鉛、有機溶剤に関わる業務及び労働安全衛生規則第13条に規定される高熱・低温物体、粉末や塵埃、異常気圧下、身体に著しい振動を与える業務、重量物、強烈な騒音、坑内、有害物資、病原体に関わる業務を指します。）

1. 有害業務がある 2. 有害業務がない

問33 現在、先生がその事業場で産業保健活動を実施する上で、何かお困りのことがありますか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. ある 2. ない

[問33で1. に○印をつけた方にうかがいします]

ア. どのような点でお困りですか。あてはまるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 事業主が産業保健活動の必要性を十分理解してくれない

2. 従業員の産業保健に対する関心が低い
3. 衛生管理者が十分活動していない
4. 事業場に保健婦・士、看護婦・士等のスタッフが十分配置されていない
5. 事業場から作業工程、有害要因、健診・測定結果等の情報が十分に提供されない
6. 事業場から健診機関や健診項目の選定等について相談がない
7. 事業場から就業上の措置について意見聴取がない
8. 先生自身の時間的余裕がなく、十分な活動を行う余裕がない
9. 事業場の経営上、十分な産業保健活動を行う余裕がない
10. 事業場に健康相談や健康教育等に必要な部屋が用意されていない
11. 事業場の理解や協力が得られず、現場巡視等を行いにくい
12. その他 ()
13. 特になし

問34 その事業場で産業保健上の課題は何ですか。主要なものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 化学物質や粉じんによる健康障害
2. 騒音性難聴等の物理的要因による健康障害
3. 腰痛等の作業形態による健康障害
4. 生活習慣病（成人病）
5. メンタルヘルス
6. 健康保持増進対策（THP）
7. 快適職場づくり
8. 職場復帰
9. 労働安全衛生マネジメントシステム
10. その他 ()
11. 特になし

現在の産業保健活動の実施内容について

問35 先生が現在重点的に実施している業務内容は何ですか。あてはまる業務内容を2つまで選び番号の○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 健康診断の事後措置 | 2. 健康相談 |
| 3. 健康・衛生教育 | 4. 現場巡視 |
| 5. 作業環境の改善 | 6. 作業方法の改善 |
| 7. メンタルヘルス | 8. 健康保持増進対策（THP） |
| 9. 快適職場づくり | 10. 職場復帰 |
| 11. 労働安全衛生マネジメントシステム | |
| 12. その他 () | |

問36 先生が今後重点的に実施したい業務内容は何ですか。あてはまる業務内容を2つまで選び番号の○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 健康診断の事後措置 | 2. 健康相談 |
| 3. 健康・衛生教育 | 4. 職場巡視 |
| 5. 作業環境の改善 | 6. 作業方法の改善 |
| 7. メンタルヘルス | 8. 健康保持増進対策（THP） |
| 9. 快適職場づくり | 10. 職場復帰 |
| 11. 労働安全衛生マネジメントシステム | |
| 12. その他 () | |

問37 健康診断の事後措置に関連しておうかがいします。先生は現在健康診断の事後措置に関連してどのようなことを実施していますか。実施しているものすべてを選び番号に○印をつけてください。

1. 有所見者の健診結果について事業場に意見を述べる
2. 健診結果の個人票すべてに目を通し、押印している
3. 健診結果に基づき、必要な労働者に対し、保健指導を行う
4. その他（)
5. 特に健康診断の事後措置に関することは実施していない

現在の先生ご自身の産業保健活動について

問38 先生は、現在のご自身の産業保健活動についてどのようにお考えですか。あてはまるもの1つを選び番号の○印をつけてください。

1. 十分な活動を行えている
2. 十分な活動を行えていない
3. どちらともいえない

調査はここで終わりです。ご協力ありがとうございました。

産業保健実態調査票

本調査は、県内の約1,500の事業場を対象に産業保健活動の企画・立案担当者の方を対象に、産業保健活動の実態や産業保健活動に関するご意見・ご要望等をうかがうことにより、今後の山口産業保健推進センターのあり方を検討するための基礎資料とすることを目的としております。

なお、お答えいただきました結果については、統計的に処理しますので、貴事業場の回答がそのまま公表されることはありません。

記入上の注意

1. この調査票の回答は、貴事業場の衛生管理者等の産業保健活動の企画・立案担当者の方がお答えください。貴事業場が支社、営業所などの場合は、会社全体の取り組みではなく、支社、営業所単位での取り組み状況についてお答えください。
2. 30分程度で記入できる調査内容となっています。
3. 調査票は、平成13年2月現在で記入してください。
4. 番号や記号のあるものは、そのいずれかに○印をつけてください。
5. 「その他（）」に該当する場合には、（）内に具体的に記入してください。
6. 青又は黒のペン又はボールペンで記入してください。
7. 調査票は、同封の返信用封筒を使用して、平成13年3月20日までにご返送してください。
8. 調査内容について不明な点がありましたら下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

労働福祉事業団山口産業保健推進センター

〒753-0051 山口市旭通り二丁目9-19

TEL 083-933-0105

FAX 083-933-0106

Ⅰ 産業保健活動の支援サービスについておたずねします

労働福祉事業団では、産業保健活動を支援し、その活性化を推進する拠点として、平成5年度から都道府県ごとに順次「産業保健推進センター」を設置し、産業医等の産業保健関係者を対象に専門的相談、研修、図書・教材の貸出し等の各支援サービスを提供しております。

産業保健推進センター全般について

問1 産業保健推進センターをご存知ですか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

- 1 よく知っている
- 2 名前は聞いたことがある
- 3 はじめて知った

[問1で1. 2. に○印をつけた方にお伺いします]

ア. どのようにして産業保健推進センターを知りましたか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 新聞、雑誌、専門誌、テレビなどを通じて知った
2. 産業保健推進センターより直接送られてきたパンフレットやリーフレットを見て知った
3. 講演会、研修会などを通じて知った
4. 知人から聞いて知った
5. 事業主団体（労働基準協会等）を通じて知った
6. 産業保健推進センターのホームページを見て知った
7. その他（ ）

イ. 産業保健推進センターを利用したことがありましたか。

あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 利用したことがある
2. 利用したことがない

問2 産業保健推進センターが提供する支援サービスを利用したいと思いませんか。また、利用されたことがある方は、再度利用したいと思いませんか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 是非（また利用したい）
2. （また）利用してもよい
3. （また）利用するつもり

[問2で3. に○印をつけた方におうかがいします]

ア. それをなぜですか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 現在十分な活動を実施できているため
2. 産業保健推進センターを利用しなくても知人等に相談できるため
3. 産業保健推進センターの提供する情報が十分でないと思われるため
4. 産業保健推進センターを利用するほどの活動ができていないため
5. 産業保健推進センターのサービス内容をよく知らないため
6. 特になし
7. その他（ ）

図書・教材の閲覧・貸出し等による産業保健に関する情報収集について

問8 現在、産業保健に関する定期刊行物を購読していますか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 定期的に購読している
2. 必要なときに購読している
3. ほとんど購読していない

[問8で1. 2. に○印をつけた方におうかがいします]

ア. それらの専門誌や情報誌の内容として不足していると思われるものを3つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 最近の健康管理上の問題と対応策
2. 産業保健活動の手法・ノウハウの解説
3. 産業保健活動の事例紹介
4. 業務上疾病の認定事例の解説
5. 化学物質の生体影響と取扱い指針の解説
6. 産業保健に関する文献・研究成果の解説
7. 産業保健活動に関する法律アドバイス
8. 産業保健推進センター・地域産業保健センターの活動紹介
9. 産業保健に関するニュース・記事の解説
10. 行政機関・関係団体の動向の解説
11. 海外の産業保健活動の動向の解説
12. 学会、講演会等の開催情報
13. 産業保健に関する最先端の科学技術の紹介
14. その他 ()

問9 どのような図書・教材の閲覧・貸出等を希望しますか。あてはまるものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 専門図書
2. 学会誌・専門誌
3. ビデオ
4. 作業環境測定用機器
5. その他 ()

産業保健推進センターで整備している産業保健情報システムについて

産業保健推進センターでは、産業保健情報をデータベース化し、利用者がインターネット等を用いて必要な情報について紹介できる産業保健情報システムの整備を図ることとしております。

問10 今後、産業保健活動を展開する上で、どのような分野・内容の情報をデータベースとして整備すべきだとお考えですか。あてはまるもの3つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 産業保健活動の手法
2. 産業保健活動の事例
3. 業務上疾病の認定に関する事例
4. 化学物質の生体影響と取扱い指針
5. 産業保健に関する文献
6. 産業保健・労働衛生関係の法令・判例
7. 行政機関の動向
8. 産業保健に関する専門家名簿
9. 地域の産業保健関係機関リスト
10. 労働衛生・健康教育に関する教材

11. 職業性疾病の発生状況

12. 学会・講演会等の開催情報

13. その他（

）

問11 貴事業場では、FAXやインターネットが利用できますか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

① FAX 1. 利用できる 2. 利用できない

② インターネット 1. 利用できる 2. 利用できない

[問11で②の1. に○印をつけた方におうかがいします]

ア. 産業保健推進センターでは、インターネット上でホームページを公開しています。

産業保健推進センターのホームページをご利用になったことがありますか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 利用したことがある 2. 利用したことはない

[山口産業保健推進センターのホームページアドレスは、<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~sanpo35/>です。]

今後の産業保健推進センターのサービスについて

問12 産業保健推進センターでは、今後どのような産業保健活動を支援するサービスを実施したらよいとお考えですか。ご自由に記入してください。

問15 前項のほか、貴事業場で産業保健活動を行うにあたって、労災病院に望むことがあればご記入ください。

IV 貴事業場における労働衛生管理についておうかがいします

貴事業場における労働衛生管理を行う部門

問20 貴事業場にある部門すべてに○印をつけてください。

1. 病院（ア. 企業立病院 イ. 健保組合立病院）
2. 人事・総務部門（ウ. 独立した安全衛生担当部門 エ. 人事・総務部内の安全衛生部門）
3. 診療所等（オ. 診療所 カ. 医務室 キ. 健康管理センター）
4. その他
5. 特になし

労働衛生担当スタッフの職種

問21 貴事業場に従事している労働衛生担当スタッフの職種すべてを選び番号に○印をつけてください。

1. 専属産業医
2. 非専属産業医
3. 衛生管理者
4. 作業環境測定士
5. 保健婦・士
6. 看護婦・士
7. 運動指導担当者（ヘルスケア・トレーナー）
8. 運動実践担当者（ヘルスケア・リーダー）
9. 産業保健指導担当者（産業保健指導者）
10. 心理相談担当者（心理相談員）
11. 産業栄養指導担当者（産業栄養指導者）
12. その他（ ）

[問21で1. 2. に○印をつけた方におうかがいします]

ア. 貴事業場の産業医の先生をどのような経路で知り、採用しましたか。最初に産業医の先生を知ったきっかけとなった経路を選んでください。（産業医の先生が複数名いる場合は、複数に○印をつけていただいて結構です）

1. 地域の医師会へ紹介を依頼した
2. 大学へ紹介を依頼した
3. 医療機関等へ紹介を依頼した
4. 他の会社（系列会社を含む）へ紹介を依頼した
5. 健康保険組合へ紹介を依頼した
6. 知人へ紹介を依頼した
7. その他（ ）
8. 分からない

イ. 平成10年10月より産業医の要件に関する改正労働安全衛生法が施行されました。貴事業場の産業医の先生は、どの要件を備えていらっしゃいますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 日本医師会の産業医学基礎研修の修了者
2. 産業医科大学の産業医学基本講座の修了者
3. 労働衛生コンサルタント（保健衛生）の試験合格者
4. 大学で労働衛生の関連科目を担当する教授、助教授又は講師（常時勤務するものに限る）の職にある者、又はあった者
5. 平成10年9月30日において、産業医の経験年数が3年以上となる者

6. 1～5の要件は備えていない
7. 分からない

貴事業場の健康管理、労働衛生について

問22 貴事業場では従業員の健康管理に対して次のどれに最も近い考えをお持ちですか。あてはまるもの1つを選び番号に○印をつけてください。

1. 従業員の健康管理は会社の経営の根幹と位置づけて行っている
2. 従業員の健康管理は法律で義務づけられているから行っている
3. 従業員の健康管理は医療費や休業日削減につながるから行っている
4. 従業員の健康管理は中高年層の生産性を高めるために行っている
5. その他 ()

問23 現在貴事業場で以下のような労働衛生上の課題がありますか。主要なものを2つまで選び番号に○印をつけてください。

1. 化学物質や粉じんによる健康障害
2. 騒音性難聴等の物理的要因による健康障害
3. 腰痛等の作業形態による健康障害
4. 生活習慣病（成人病）
5. メンタルヘルス
6. 健康保持増進対策（THP）
7. 快適職場づくり
8. 職場復帰（a. b. の中から1つ選んでください）
[a. 労働災害による離職からの復帰 b. その他の疾病による離職からの復帰]
9. 労働安全衛生マネジメントシステム
10. その他 ()
11. 特になし

現在の貴事業場の産業保健活動について

問24 貴事業場が現在重点的に実施している業務内容は何ですか。あてはまる業務内容を2つまで選び番号の○印をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 健康診断の事後措置 | 2. 健康相談 |
| 3. 健康・衛生教育 | 4. 作業環境の改善 |
| 5. 作業方法の改善 | 6. メンタルヘルス |
| 7. 健康保持増進対策（THP） | 8. 快適職場づくり |
| 9. 職場復帰 | 10. 労働安全衛生マネジメントシステム |
| 11. その他 () | |

問25 貴事業場の産業医に重点的に実施して欲しい業務内容は何ですか。あてはまる業務内容を2つまで選び番号の○印をつけてください。

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 健康診断の事後措置 | 2. 健康相談 |
| 3. 健康・衛生教育 | 4. 職場巡視 |

- | | |
|----------------------|------------------|
| 5. 作業環境の改善 | 6. 作業方法の改善 |
| 7. メンタルヘルス | 8. 健康保持増進対策（THP） |
| 9. 快適職場づくり | 10. 職場復帰 |
| 11. 労働安全衛生マネジメントシステム | |
| 12. その他（ | ） |

問26 健康診断の事後措置に関連しておうかがいします。現在健康診断の事後措置に関連してどのようなことを実施していますか。実施しているものすべてを選び番号に○印をつけてください。

1. 有所見者の健診結果について医師又は歯科医師の意見を聞く
2. 健診結果に基づき、必要があるときは労働者の就業場所の変更等適切な就業上の措置を講じる
3. 労働者に対し、健診の結果について通知する
4. 健診結果に基づき、必要な労働者に対して医師等による保健指導を行う
5. その他（
6. 特に健康診断の事後措置に関することは実施していない

今後の貴事業場の産業保健活動について

問27 貴事業場が今後重点的に実施したい業務内容は何ですか。あてはまる業務内容を2つまで選び番号の○印をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 健康診断の事後措置 | 2. 健康相談 |
| 3. 健康・衛生教育 | 4. 作業環境の改善 |
| 5. 作業方法の改善 | 6. メンタルヘルス |
| 7. 健康保持増進対策（THP） | 8. 快適職場づくり |
| 9. 職場復帰 | 10. 労働安全衛生マネジメントシステム |
| 11. その他（ | ） |

問28 今後、産業医に重点的に健康教育に取り組んでもらうとした場合、どのような内容の教育に力を入れて欲しいですか。あてはまるものを2つまで選び番号の○印をつけてください。また、具体的内容について下記欄にご記入ください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 生活習慣病 | 2. メンタルヘルスについて |
| 3. 禁煙について | 4. 腰痛・VDTなど作業状態について |
| 5. 化学物質や粉じんなど作業環境について | |
| 6. 運動及び栄養指導について | 7. エイズ等の感染症について |
| 8. その他（ | ） |

健康教育の具体的内容

